

伊 勢 市 公 報

第 15 号
平成 18 年 6 月 20 日
火 曜 日

目 次

	頁
規 則	
伊勢市事務分掌規則等の一部を改正する規則	2
市長の同意を得て任免する伊勢市病院企業職員の範囲に関する規則及び伊勢市病院企業職員の地方公営企業法第39条第2項の規定に基づき市長が定める職に関する規則の一部を改正する規則	6
伊勢市老人福祉法施行細則の一部を改正する規則	8
訓 令	
伊勢市事務決裁規程等の一部を改正する規程	10
告 示	
認可地縁団体の告示事項の変更について	13
伊勢市やすらぎ公園プールの使用料の収納に関する業務の一部委託について	14
伊勢市岡本町財産区議会の招集について	15
市議会定例会の招集について	16
平成 17 年度下半期の伊勢市病院事業、水道事業、下水道事業及び認知症対応型共同生活介護事業の業務の状況について	17
選挙管理委員会告示	
永久選挙人名簿関係	
・ 転出による永久選挙人名簿の抹消について	65
・ 選挙権を有する者の総数の 50 分の 1 の数及び 3 分の 1 の数について	66
・ 選挙権を有する者の総数の 6 分の 1 の数について	67
上下水道事業告示	
伊勢市下水道排水設備指定工事店の指定について	68
伊勢市下水道排水設備指定工事店の指定について	69
伊勢市下水道排水設備指定工事店の指定について	70
公 告	
農用地利用集積計画の作成について	71
市営住宅の空家入居者の募集について	72
公示送達	75
公示送達	80
公 表	
伊勢市情報公開制度の実施状況の公表について	82
伊勢市個人情報の開示等の実施状況の公表について	84

伊勢市事務分掌規則等の一部を改正する規則をここに公布する。

平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市長 森 下 隆 生

伊勢市規則第 19 号

伊勢市事務分掌規則等の一部を改正する規則

(伊勢市事務分掌規則の一部改正)

第 1 条 伊勢市事務分掌規則(平成 17 年伊勢市規則第 4 号)の一部を次のように改正する。

第 3 条福祉健康部の部健康課の項中「地域包括支援センター」を削り、同部に次のように加える。

地域包括支援センター 相談支援係

第 6 条福祉健康部の部健康課の款地域包括支援センターの項を削り、同部に次のように加える。

地域包括支援センター

- (1) 虚弱高齢者の介護予防に関する事。
- (2) 高齢者の総合相談及び支援に関する事。
- (3) 高齢者の権利擁護に関する事。
- (4) 要支援高齢者のケアマネジメントに関する事。
- (5) その他地域支援事業に関する事。

第 14 条中「又は室長」を「、室長又はセンター長」に改める。

第 16 条中「又は室長補佐」を「、室長補佐又はセンター長補佐」に改める。

第 18 条の見出しを「(係長)」に改め、同条第 1 項を次のように改める。

係に係長を置く。

第 18 条第 3 項中「係長等」を「係長」に改める。

(伊勢市公印規則の一部改正)

第 2 条 伊勢市公印規則(平成 17 年伊勢市規則第 7 号)の一部を次のように改正する。

別表出納員印の項中

「

宮川・横輪川改修対策室の所管事務に係る諸収入金の収納	宮川・横輪川改修対策室長	1
----------------------------	--------------	---

を

」

「

地域包括支援センターの所管事務に係る諸収入金の収納	地域包括支援センター長	1
宮川・横輪川改修対策室の所管事務に係る諸収入金の収納	宮川・横輪川改修対策室長	1

に改める。

」

(伊勢市職員の職務の級、初任給、昇格、昇給等の基準規則の一部改正)

第3条 伊勢市職員の職務の級、初任給、昇格、昇給等の基準規則(平成17年伊勢市規則第28号)の一部を次のように改正する。

別表第14級の項中第8号を削り、第9号を第8号とし、第10号から第16号を1号ずつ繰り上げる。

別表第17級の項中第11号を第12号とし、第2号から第10号までを1号ずつ繰り下げ、第1号の次に次の1号を加える。

2 センター長の職務(福祉健康センター長を除く。)

(伊勢市職員管理職手当支給に関する規則の一部改正)

第4条 伊勢市職員管理職手当支給に関する規則(平成17年伊勢市規則第31号)の一部を次のように改正する。

別表市長部局の項中「室長(合併調整室長を除く。)」の次に「、セン

ター長（福祉健康センター長を除く。）」を加える。

（伊勢市会計規則の一部改正）

第5条 伊勢市会計規則（平成17年伊勢市規則第42号）の一部を次のように改正する。

別表福祉健康部の部に次のように加える。

地域包括支援センター	センター長	地域包括支援センターの所管事務に係る諸収入金の収入	相談支援係長
------------	-------	---------------------------	--------

（伊勢市建設工事検査規則の一部改正）

第6条 伊勢市建設工事検査規則（平成17年伊勢市規則第132号）の一部を次のように改正する。

第2条第3号中「課及び」を「課、センター及び」に改める。

附 則

この規則は、平成18年6月1日から施行する。

市長の同意を得て任免する伊勢市病院企業職員の範囲に関する規則及び

伊勢市病院企業職員の地方公営企業法第 39 条第 2 項の規定に基づき市長

が定める職に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市長 森 下 隆 生

伊勢市規則第20号

市長の同意を得て任免する伊勢市病院企業職員の範囲に関する規則
及び伊勢市病院企業職員の地方公営企業法第39条第2項の規定に基づき市長が定める職に関する規則の一部を改正する規則

(市長の同意を得て任免する伊勢市病院企業職員の範囲に関する規則の一部改正)

第1条 市長の同意を得て任免する伊勢市病院企業職員の範囲に関する規則(平成17年伊勢市規則第103号)の一部を次のように改正する。

本則第3号中「室長」を「薬局長、室長」に改め、本則第5号中「室長補佐」を「副薬局長、室長補佐」に改める。

(伊勢市病院企業職員の地方公営企業法第39条第2項の規定に基づき市長が定める職に関する規則の一部改正)

第2条 伊勢市病院企業職員の地方公営企業法第39条第2項の規定に基づき市長が定める職に関する規則(平成17年伊勢市規則第104号)の一部を次のように改正する。

本則第3号中「室長」を「薬局長、室長」に改める。

附 則

この規則は公布の日から施行する。

伊勢市老人福祉法施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市長 森 下 隆 生

伊勢市規則第 21 号

伊勢市老人福祉法施行細則の一部を改正する規則

伊勢市老人福祉法施行細則（平成 17 年伊勢市規則第 66 号）の一部を次のように改正する。

第 8 条第 1 項中「第 1 条の 6 」を「第 1 条の 7 」に改める。

様式第 15 号中「第 1 条の 6 」を「第 1 条の 7 」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

伊勢市事務決裁規程等の一部を改正する規程を次のように定める。

平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市長 森 下 隆 生

伊勢市訓令第5号

伊勢市事務決裁規程等の一部を改正する規程

(伊勢市事務決裁規程の一部改正)

第1条 伊勢市事務決裁規程(平成17年伊勢市訓令第3号)の一部を次のように改正する。

別表第1の2の表備考中「課及び室並びに」を「課、センター及び室並びに」に改める。

別表第2の5の(6)の表中16の項から19の項までを削り、同表の次に次の1表を加える。

(7) 地域包括支援センター

事項	市長	専決区分			備考
		助役	部長	センター長	
1 介護予防ケアマネジメントに関する事 こと。					
2 ケアプラン作成 の業務委託に関する 事 こと。					
3 介護報酬の請求 に関する事 こと					
4 高齢者等の総合 相談・支援に関する 事 こと。					

5 高齢者等の権利 擁護に関する事 こと。					
6 地域ケアの支援 に関する事 こと。					
7 介護サービス事 業者の支援に関 する事 こと。					

(伊勢市文書管理規程の一部改正)

第2条 伊勢市文書管理規程(平成17年伊勢市訓令第6号)の一部を次のように改正する。

第2条第5号中「本庁の課及び室」を「本庁の課、センター及び室」に改める。

別表健の項の次に次のように加える。

包	福祉健康部地域包括支援センター
---	-----------------

(伊勢市災害対策本部規程の一部改正)

第3条 伊勢市災害対策本部規程(平成17年伊勢市訓令第33号)の一部を次のように改正する。

第10条中「三重県南勢志摩県民局」を「三重県伊勢県民センター」に改める。

別表中「健康課長」の次に「、地域包括支援センター長」を、「健康課員」の次に「、地域包括支援センター員」を加え、「、資源循環課員」を削り、「環境管理課」を「環境政策課」に、「清掃センター」を「資源循環課」に改める。

附 則

この訓令は、平成18年6月1日から施行する。

伊勢市告示第 54 号

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 260 条の 2 第 11 項の規定により、東豊浜町西条自治会から次のとおり変更の届出がありましたので、同条第 10 項の規定により告示します。

平成 18 年 6 月 7 日

伊勢市長 森 下 隆 生

1 代表者の氏名及び住所

変更前 南 端 泰

伊勢市東豊浜町 1517 番地

変更後 中 村 正 勝

伊勢市東豊浜町 1611 番地

伊勢市告示第 55 号

地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 158 条第 1 項の規定に基づき、伊勢市やすらぎ公園プールの使用料の収納に関する業務の一部を次のとおり委託したので、同条第 2 項の規定により告示します。

平成 18 年 6 月 7 日

伊勢市長 森 下 隆 生

1 収納に関する業務を委託した者

四日市市新正 4 丁目 1 番 1 号

三重コニックス株式会社

代表取締役 吉田 治伸

2 委託期間

平成 18 年 5 月 26 日から平成 18 年 9 月 16 日まで

伊勢市告示第 56 号

伊勢市岡本町財産区議会を次のとおり招集します。

平成 18 年 6 月 8 日

伊勢市長 森 下 隆 生

- 1 招集の日時 平成 18 年 6 月 15 日 (木) 午後 5 時
- 2 招集の場所 伊勢市岡本 2 丁目 2 番 3 0 号
伊勢市岡本町財産区岡本会館 2 階小会議室
- 3 付議すべき事件

議案第 5 号 平成 17 年度伊勢市岡本町財産区歳入歳出決算の認定を求め
ることについて

議案第 6 号 伊勢市岡本町財産区議会の議員の公務災害見舞金支給に関す
る条例の一部改正について

議案第 7 号 平成 18 年度伊勢市岡本町財産区補正予算第 1 号について

伊勢市告示第 57 号

伊勢市議会定例会を次のとおり招集します。

平成 18 年 6 月 14 日

伊勢市長 森 下 隆 生

- 1 招集の日時 平成 18 年 6 月 21 日（水） 午前 10 時
- 2 招集の場所 伊勢市議会議場

伊勢市告示第 58 号

平成 17 年度下半期の伊勢市病院事業、水道事業、下水道事業及び
認知症対応型共同生活介護事業の業務の状況について

地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定に
より、平成 17 年 10 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの伊勢市病院事業、
水道事業、下水道事業及び認知症対応型共同生活介護事業の業務の状況を
次のとおり公表します。

平成 18 年 6 月 15 日

伊勢市長 森 下 隆 生

今回の公表につきましては、平成 17 年 11 月 1 日に市町村合併が行われたため、病院事業については、旧伊勢市における状況、水道事業については、旧伊勢市、旧二見町及び旧小俣町における状況、下水道事業については、旧小俣町における状況、認知症対応型共同生活介護事業については、旧小俣町における状況をそれぞれ附属し公表しております。

平成17年度下半期（10月末まで）伊勢市病院事業の業務状況

1. 事業の概況

今期におきまして、前年度に引き続き公的医療機関として、市民の医療福祉の増進を図るとともに、諸経費の節減に努めながら、合理的経営に努力してまいりました。

このような状況の中、平成17年4月1日から平成17年10月31日までの17年度の病院利用状況につきましては、延べ入院患者数70,702人、延べ外来患者数154,202人、健診者数6,712人となり、前年度同期と比較いたしますと、入院患者数におきましては、4,153人の減少、外来患者数におきましても5,537人の減少、健診者数におきましても、684人の減少となりました。

収益的収支におきましては、事業収益4,100,523千円（内一般会計負担金150,000千円を含む）、事業費用4,139,179千円で収支差引38,656千円の単年度純損失を生じました。

一方、資本的収入におきましては、一般会計からの負担金50,000千円、寄附金10,000千円の計60,000千円に対し、支出では資産購入費27,797千円、委託費1,270千円、企業債元金の償還に181,604千円となり、資産購入費の主なものは、大腸ビデオスコープ（3,234千円）、上部消化管ビデオスコープ（2,864千円）、回診用X線撮影装置（2,940千円）、ICU室ベッドサイドモニター（5,754千円）等の導入並びにその他更新整備を図ったところであります。

資本的総支出額といたしましては、210,671千円となり、収支差引150,671千円の不足額を生じましたが、一時借入金で措置いたしました。

以上が主な概況であります。当年度未処理欠損金が、14億3百余万円（前年度末未処理欠損金13億6千4百余万円）を有しており、新市へ繰り越すこととなりましたので、今後も医療サービスの向上に努めながら経費の節減、合理化等経営改善に努め、健全経営に努力をいたす所存であります。

2. 職員に関する事項

（単位：人）

年 月 日	医 師	医療技術職員	看護（准）師	事務職員	その他の職員	嘱託職員	計
17.9.30	54	62	237	18	27	64	462
17.10.31	54	62	239	18	27	65	465

* 医師数に事業管理者を含む。

3. 経理の状況

平成17年 4月 1日から

平成17年10月31日まで

(1) 平成17年度下半期(10月末まで)伊勢市病院事業予算執行状況表

(単位:円)

区 分	予 算 額 A	予算執行額 B	予 算 残 額	B / A %	備 考
(収益的収入)					
病院事業収益	7,632,035,000	4,111,298,151	3,520,736,849	53.9	
医業収益	6,979,373,000	3,809,648,894	3,169,724,106	54.6	
健診収益	259,214,000	128,093,067	131,120,933	49.4	
医業外収益	393,348,000	173,556,190	219,791,810	44.1	
特別利益	100,000	0	100,000	0.0	
(収益的支出)					
病院事業費用	7,604,567,000	4,102,662,364	3,501,904,636	53.9	
医業費用	7,091,006,000	3,827,057,044	3,263,948,956	54.0	
健診費用	138,740,000	76,453,626	62,286,374	55.1	
医業外費用	373,721,000	199,151,694	174,569,306	53.3	
特別損失	100,000	0	100,000	0.0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
(資本的収入)					
資本的収入	417,500,000	60,000,000	357,500,000	14.4	
企業債	317,500,000	0	317,500,000	0.0	
負担金	100,000,000	50,000,000	50,000,000	50.0	
寄附金	0	10,000,000	10,000,000	-	
(資本的支出)					
資本的支出	876,438,000	210,670,962	665,767,038	24.0	
建設改良費	509,500,000	29,067,245	480,432,755	5.7	
企業債償還金	366,938,000	181,603,717	185,334,283	49.5	

平成17年 4月 1日から
平成17年10月31日まで

(2) 平成17年度下半期(10月末まで)伊勢市病院事業損益計算書

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	4,139,179,480	病院事業収益	4,100,522,810
医業費用	3,800,936,519	医業収益	3,805,765,736
給 与 費	2,138,427,674	入院収益	2,399,131,772
材 料 費	977,156,349	外来収益	1,317,613,507
経 費	469,230,665	その他医業収益	89,020,457
雑 支 出	0	健診収益	122,169,670
減価償却費	204,331,977	健診収益	122,169,670
資産減耗費	492,000	医業外収益	172,587,404
研究研修費	11,297,854	受取利息	
健診費用	75,621,845	及び配当金	338
給 与 費	45,446,319	他会計補助金	0
材 料 費	8,222,016	他会計負担金	150,000,000
経 費	16,612,834	国庫補助金	0
減価償却費	5,340,676	その他医業外収益	22,587,066
医業外費用	262,621,116	特別利益	0
支払利息及び企		過年度損益修正益	0
業債取扱諸費	39,069,724	当期純損失	38,656,670
繰延勘定償却	151,810,432		
雑 損 失			
(消費税雑損失)	71,372,880		
負 担 金	0		
医業外雑費	368,080		
特別損失	0		
予 備 費	0		
合 計	4,139,179,480	合 計	4,139,179,480

平成17年10月31日

(3) 平成17年度下半期(10月末まで)伊勢市病院事業貸借対照表

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,993,401,511	流動負債	1,542,866,601
有形固定資産	3,988,323,001	一時借入金	1,000,000,000
土地	1,125,595,145	未払金	530,146,601
建物	5,210,695,318	医業未払金	513,687,541
構築物	296,438,161	未払消費税	3,374,590
器械備品	3,297,739,384	その他未払金	13,084,470
車両	4,530,233	その他流動負債	12,720,000
減価償却累計額	5,946,675,240	預り金	11,720,000
無形固定資産	5,078,510	預り有価証券	1,000,000
電話加入権	3,562,685	資本金	1,937,218,615
施設利用権	1,515,825	自己資本金	510,318,431
流動資産	1,240,243,670	借入資本金	1,426,900,184
現金預金	111,735,392	企業債	1,426,900,184
預金	111,735,392	剰余金	2,521,798,212
未収金	1,060,054,974	資本剰余金	3,886,395,772
医業未収金	1,058,038,409	受贈財産評価額	168,801,214
医業外未収金	2,016,565	国庫補助金	101,869,000
貯蔵品	29,453,304	他会計補助金	389,320,000
薬品	21,048,740	工事負担金	53,395,358
診療材料	8,356,789	寄附金	32,900,000
給食材料	47,775	補助金	15,110,200
前払金	38,000,000	他会計負担金	3,125,000,000
前払金	38,000,000	欠損金	1,364,597,560
その他流動資産	1,000,000	前年度未処理欠損金	1,364,597,560
保管有価証券	1,000,000	当期純損失	38,656,670
繰延勘定	729,581,577		
退職給与金	729,581,577		
退職給与金	729,581,577		
合 計	5,963,226,758	合 計	5,963,226,758

平成17年度下半期（11月～3月）伊勢市病院事業の業務状況

1. 事業の概況

病院の経営環境は、引き続き厳しい状況となっておりますが、地域の中核病院として良質かつ高度の医療、安全で安心していただける医療を提供できるよう図りながら、諸経費の節減に努め効率的かつ効果的な経営の健全化に努めてまいりました。

このような状況の中、平成17年11月1日から平成18年3月31日までの新市17年度の病院利用状況につきましては、延べ入院患者数50,279人、延べ外来患者数102,445人、健診者数4,954人となり、前年度同期と比較いたしますと、入院患者数におきましては、4,126人の減少、外来患者数におきましても、8,578人の減少となりましたが、健診者数におきましては、693人の増加となりました。

収益的収支におきましては、事業収益3,077,369千円（内一般会計負担金200,000千円を含む）、事業費用3,134,262千円で収支差引56,893千円の単年度純損失を生じました。

一方、資本的収入におきましては、一般会計からの負担金50,000千円に対し、支出では資産購入費58,395千円、工事請負費103,292千円、委託費22,050千円、企業債元金の償還に185,334千円、退職給与金120,547千円となり、資産購入費の主なものは、透析用患者監視装置（7,980千円）、フルデジタル超音波診断装置（24,150千円）、クールチップRFシステム（4,988千円）、画像診断装置（5,880千円）等の導入並びにその他更新整備を図ったところであります。

資本的総支出額といたしましては、489,618千円となり、収支差引439,618千円の不足額を生じましたが、一時借入金で措置いたしました。

以上が平成17年度11月～3月期における主な概況であります。当年度末未処理欠損金が、14億6千余万円（合併時の未処理欠損金14億3百余万円）を有しておりますので、今後も医療サービスの向上に努めながら経費の節減、合理化等経営改善に努め、健全経営に努力をいたす所存であります。

2. 職員に関する事項

（単位：人）

年 月 日	医 師	医療技術職員	看護（准）師	事務職員	その他の職員	嘱託職員	計
17.11.1	53	62	239	18	27	65	464
18.3.31	54	62	237	18	27	63	461

3. 経理の状況

平成17年11月 1日から

平成18年 3月31日まで

(1) 平成17年度下半期(11月～3月)伊勢市病院事業予算執行状況表

(単位:円)

区 分	予 算 額 A	予算執行額 B	予 算 残 額	B / A %	備 考
(収益的収入)					
病院事業収益	3,285,222,000	3,087,163,279	198,058,721	94.0	
医業収益	2,917,308,000	2,711,038,674	206,269,326	92.9	
健診収益	120,596,000	117,508,929	3,087,071	97.4	
医業外収益	247,218,000	258,615,676	11,397,676	104.6	
特別利益	100,000	0	100,000	0.0	
(収益的支出)					
病院事業費用	3,285,099,000	3,110,692,131	174,406,869	94.7	
医業費用	3,046,449,000	2,881,373,087	165,075,913	94.6	
健診費用	61,127,000	54,530,038	6,596,962	89.2	
医業外費用	176,423,000	174,789,006	1,633,994	99.1	
特別損失	100,000	0	100,000	0.0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
(資本的収入)					
資本的収入	50,000,000	50,000,000	0	100.0	
負担金	50,000,000	50,000,000	0	100.0	
(資本的支出)					
資本的支出	503,429,000	489,617,991	13,811,009	97.3	
建設改良費	197,546,000	183,736,547	13,809,453	93.0	
企業債償還金	185,335,000	185,334,201	799	100.0	
退職給与金	120,548,000	120,547,243	757	100.0	

平成17年11月 1日から

平成18年 3月31日まで

(2) 平成17年度下半期(11月～3月)伊勢市病院事業損益計算書

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	3,134,262,109	病院事業収益	3,077,368,632
医業費用	2,862,351,142	医業収益	2,708,018,691
給 与 費	1,683,247,841	入院収益	1,746,410,358
材 料 費	686,971,928	外来収益	895,303,851
経 費	336,541,014	その他医業収益	66,304,482
雑 支 出	0	健診収益	111,823,208
減価償却費	145,951,410	健診収益	111,823,208
資産減耗費	867,543	医業外収益	257,526,733
研究研修費	8,771,406	他会計補助金	10,140,960
健診費用	53,879,285	他会計負担金	200,000,000
給 与 費	31,663,910	国庫補助金	6,629,000
材 料 費	5,202,769	その他医業外収益	40,756,773
経 費	13,197,840	特別利益	0
減価償却費	3,814,766	過年度損益修正益	0
医業外費用	218,031,682	当期純損失	56,893,477
支払利息及び企			
業債取扱諸費	36,010,608		
繰延勘定償却	108,436,022		
雑 損 失			
(消費税雑損失)	56,146,609		
負 担 金	17,178,723		
医業外雑費	259,720		
特別損失	0		
予 備 費	0		
合 計	3,134,262,109	合 計	3,134,262,109

平成18年3月31日

(3) 平成17年度下半期(11月~3月)伊勢市病院事業貸借対照表

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	4,017,756,247	流動負債	1,894,265,452
有形固定資産	4,012,703,362	一時借入金	1,350,000,000
土地	1,125,595,145	未払金	543,265,452
建物	5,330,068,318	医業未払金	503,396,979
構築物	296,438,161	未払消費税	4,850,973
器械備品	3,335,316,820	その他未払金	35,017,500
車両	5,217,388	その他流動負債	1,000,000
減価償却累計額	6,079,932,470	預り有価証券	1,000,000
無形固定資産	5,052,885	資本金	1,751,884,414
電話加入権	3,562,685	自己資本金	510,318,431
施設利用権	1,490,200	借入資本金	1,241,565,983
流動資産	1,362,948,886	企業債	1,241,565,983
現金預金	217,542,267	剰余金	2,533,141,542
預金	217,542,267	資本剰余金	3,936,395,772
未収金	1,125,458,854	受贈財産評価額	168,801,214
医業未収金	1,106,047,527	国庫補助金	101,869,000
医業外未収金	19,411,327	他会計補助金	389,320,000
貯蔵品	18,947,765	工事負担金	53,395,358
薬品	11,083,224	寄附金	32,900,000
診療材料	7,768,991	補助金	15,110,200
給食材料	95,550	他会計負担金	3,175,000,000
その他流動資産	1,000,000	欠損金	1,403,254,230
保管有価証券	1,000,000	前年度未処理欠損金	1,403,254,230
繰延勘定	741,692,798	当期純損失	56,893,477
退職給与金	741,692,798		
退職給与金	741,692,798		
合 計	6,122,397,931	合 計	6,122,397,931

4 . 平成18年度予算の概要と事業の経営方針

平成18年度の病院事業につきましては、平成18年4月からの診療報酬のマイナス改正などの影響をうけまして、財政状況はさらに厳しくなるものと予想されますが、地域住民への高度医療技術の提供に努めるとともに、収入の確保に努めながら、健全経営に職員一同まい進する所存であります。

事業運営につきましては、業務予定量といたしまして、入院患者数を一日373人で年間延べ136,145人、外来患者数を一日1,070人で年間延べ262,150人、健診・ドック一日41人で年間延べ12,179人を予定し、収益的収入では、医業収益で7,084,527千円、健診収益で254,713千円と一般会計からの負担金350,000千円等を合わせ合計7,733,652千円を計上し、また、支出といたしましては、給与費、材料費等の医業費用で7,175,530千円、健診費用で157,124千円等合わせて、7,697,137千円を予定いたしました。

その結果、収益的収支におきましては、36,515千円の純利益を生ずる見込みであります。

一方、資本的支出におきましては、収入として一般会計からの負担金100,000千円、支出では、高度医療機器の更新等建設改良費に100,000千円、企業債償還金341,949千円を合わせ441,949千円を予定計上いたしました。

この結果、341,949千円の収支不足となりますが、一時借入金で措置する予定であります。

平成17年度 下半期(10月まで)伊勢市水道事業の業務状況

1 事業の概要

今回の概要は、市町村合併に伴う打切り決算のため、10月末日までの状況となっておりますが、昨年度に引き続き、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、年次計画に基づく老朽配水本管の更新や増口径管への布設替工事、配水本管の未整備地区への新規布設工事や施設の整備改良工事のほか、下水道工事等に伴う配水本管布設替工事等を実施するとともに、安定給水を図り、災害時に十分な消火水量を確保するため、上水道安全対策事業として、前山加圧ポンプ場改修工事を進めました。

市町村合併に向けては、新規水道事業としての事業認可を受けるための事業計画書の作成を行いました。また、事務の統合のため、新料金システム及び財務会計システムの改修を行いました。

また、人件費の削減のため、5月からは水道管理センターにおきまして水源施設管理業務の一部を、10月からは窓口業務、料金請求事務等の一部民間委託を実施しました。

事業運営面では、給水戸数は43,416戸で前年度より207戸増加しましたが、需要者の節水意識の浸透、節水機器の普及等などにより使用水量は逡減してきており、今期は配水量におきましては前年度に比し1.3%減少し、有収水量におきましても同じく1.5%の減少となりました。

財政収支の状況は、収益的収支におきましては、消費税を除き事業収益1,452,948千円、事業費用1,125,944千円の執行となり、327,004千円の純利益を生じ、当年度未処分利益剰余金は、327,004千円となりました。

一方、資本的収支におきましては、収入182,531千円、支出649,225千円の執行となり、466,694千円の収支不足となりましたが、損益勘定留保資金等で補てんいたしました。

今後につきましても、事業費用を圧迫する受水費、企業債償還金等の諸経費とともに、計画的な施設の整備改良事業を推進する必要があると見られ、事業運営が厳しくなることが予想されますが、あくまで独立採算制の堅持を第一目標とし、経費節減はもとより、公共性と経済性の調和を図りながら効率的な運営に努め、給水の安定、市民サービスの向上になお一層の努力を重ねる所存であります。

2 給水状況

(1) 給水戸数と給水人口

区 分		H17.3.31	H17.10.31	増 減	増減率 (%)
上水道	給水戸数	43,144戸	43,351戸	207戸	100.5
	給水人口	108,582人	108,495人	87人	99.9
簡易水道	給水戸数	65戸	65戸	0戸	100.0
	給水人口	116人	113人	3人	97.4

(2) 給水収益(税込み)

(単位 千円)

区 分		H16年度	H17年度	増 減	増減率 (%)
上水道	調 定 額	1,508,339	1,485,284	23,055	98.5
	収 入 額	1,427,197	1,424,113	3,084	99.8
	収入率 (%)	94.6	95.9	1.3	
簡易水道 (注)	調 定 額	1,025	963	62	94.0
	収 入 額	892	922	30	103.4
	収入率 (%)	87.0	95.7	8.7	

(注) 簡易水道は隔月検針のため、9月30日までのデータを掲載しました。

(3) 配水量と有収水量

(単位 m³)

区 分		H16年度	H17年度	増 減	増減率 (%)
上水道	配 水 量	9,172,729	9,052,450	120,279	98.7
	有収水量	7,869,195	7,748,501	120,694	98.5
	有収率 (%)	85.8	85.6	0.2	
簡易水道 (注)	配 水 量	7,023	6,453	570	91.9
	有収水量	5,696	5,475	221	96.1
	有収率 (%)	81.1	84.8	3.7	

(注) 簡易水道は隔月検針のため、9月30日までのデータを掲載しました。

3 職員に関する事項

(単位 人)

区 分	事務吏員	技術吏員	事務員	その他職員	嘱 託	計
H17.9.30	8	11	1	20	13	53
H17.10.31	9	11	0	20	12	52

4 経理の状況

(単位 円)

(1)平成17年度伊勢市水道事業予算執行状況		平成 17 年 4 月 1 日 から 平成 17 年 10 月 31 日まで		
区 分	予算額(A)	執行額(B)	予算残額	B / A %
(収益的収支)				
水道事業収益	2,630,405,000	1,524,834,415	1,105,570,585	58.0
営業収益	2,575,991,000	1,498,281,233	1,077,709,767	58.2
営業外収益	52,148,000	25,588,778	26,559,222	49.1
簡易水道収益	2,266,000	964,404	1,301,596	42.6
水道事業費用	2,412,451,000	1,213,452,764	1,198,998,236	50.3
営業費用	2,073,380,000	1,076,989,188	996,390,812	51.9
営業外費用	323,806,000	134,209,012	189,596,988	41.4
簡易水道費用	5,265,000	2,254,564	3,010,436	42.8
予備費	10,000,000	0	10,000,000	0.0
(資本的収支)				
資本的収入	678,326,000	182,530,504	495,795,496	26.9
企業債	492,600,000	147,600,000	345,000,000	30.0
負担金	185,726,000	34,930,504	150,795,496	18.8
資本的支出	1,430,727,000	649,224,553	781,502,447	45.4
建設改良費	841,154,000	279,389,956	561,764,044	33.2
償還金	589,573,000	369,834,597	219,738,403	62.7

(単位 円)

(2)平成17年度伊勢市水道事業損益計算書		平成17年4月1日から 平成17年10月31日まで	
		借 方	貸 方
水道事業費用	1,125,943,562	水道事業収益	1,452,948,138
営業費用	989,833,372	営業収益	1,427,455,283
原水費	474,378,201	給水収益	1,414,561,772
配水及び給水費	131,886,993	受託工事収益	3,714,100
受託工事費	5,838,196	その他営業収益	9,179,411
総係費	108,880,289	営業外収益	24,574,276
減価償却費	264,339,000	受取利息及び配当金	89,545
資産減耗費	4,510,693	雑収益	5,396,060
営業外費用	133,916,912	朝熊山分担金	2,666,671
支払利息及び 企業債取扱諸費	124,474,486	加入金	16,422,000
雑支出	4,496,445	簡易水道収益	918,579
朝熊山雑支出	4,945,981	給水収益	917,579
簡易水道費用	2,193,278	雑収益	1,000
簡易水道費	2,193,278		
当期純利益	327,004,576		
合計	1,452,948,138	合計	1,452,948,138

(単位 円)

(3)平成17年度伊勢市水道事業貸借対照表		平成17年10月31日	
借 方		貸 方	
固 定 資 産	13,556,284,073	固 定 負 債	376,177,617
有 形 固 定 資 産	13,388,549,336	引 当 金	376,177,617
土 地	1,184,836,055	退 職 給 与 引 当 金	175,276,348
建 物	596,783,902	修 繕 引 当 金	200,901,269
減 価 償 却 累 計 額	240,986,173	流 動 負 債	170,882,817
構 築 物	16,865,541,273	未 払 金	168,276,373
減 価 償 却 累 計 額	6,112,105,538	貯 蔵 品 購 入 未 払 金	819,609
機 械 及 び 装 置	1,958,673,361	営 業 未 払 金	109,631,458
減 価 償 却 累 計 額	1,146,274,604	営 業 外 未 払 金	264,078
車 両 運 搬 具	20,168,099	未 払 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	19,322,600
減 価 償 却 累 計 額	12,265,038	そ の 他 未 払 金	38,238,628
工 具、器 具 及 び 備 品	49,771,979	そ の 他 流 動 負 債	2,606,444
減 価 償 却 累 計 額	35,656,503	預 り 金	2,606,444
建 設 仮 勘 定	260,062,523	資 本 金	8,876,804,246
無 形 固 定 資 産	167,734,737	自 己 資 本 金	2,910,810,241
施 設 利 用 権	149,849,900	借 入 資 本 金	5,965,994,005
ソ フ ト ウ エ ア	17,884,837	企 業 債	5,965,994,005
流 動 資 産	1,907,442,652	剰 余 金	6,039,862,045
現 金 預 金	1,381,387,590	資 本 剰 余 金	5,411,290,825
預 金	1,381,387,590	受 贈 財 産 評 価 額	1,784,411,764
未 収 金	242,451,308	補 助 金	207,423,656
営 業 未 収 金	235,797,327	負 担 金	3,400,443,405
営 業 外 未 収 金	5,104,190	繰 入 金	2,448,000
そ の 他 未 収 金	1,549,791	加 入 金	16,564,000
貯 蔵 品	23,603,754	利 益 剰 余 金	628,571,220
原 材 料	23,603,754	減 債 積 立 金	16,000,000
短 期 貸 付 金	260,000,000	建 設 改 良 積 立 金	285,566,644
他 会 計 貸 付 金	260,000,000	当 年 度 未 処 分 金	327,004,576
合 計	15,463,726,725	合 計	15,463,726,725

平成17年度 下半期(10月まで)二見町水道事業の業務状況

平成17年度業務の予定量

- ・年間総給水量 973,844 m³
- ・主要な建設改良事業
配水設備改良費 75,291 千円

平成17年10月31日までの業務状況

- ・総給水量 672,528 m³
(予定水量の 69.1%)
- ・予算執行率 科目別収支状況表のとおり

平成17年度 二見町水道事業会計 科目別収支状況

平成17年4月1日から平成17年10月31日まで

収入状況

(単位 円)

予算科目	当初予算	補正 流用額	財源 充当額	現行予算額	構成比 %	4月～10月末 収入済額	予算残額	予算 執行率%
水道事業収益	278,993,000	0		278,993,000	100.0	172,823,340	106,169,660	61.9
営業収益	267,960,000	0		267,960,000	96.0	170,693,835	97,266,165	63.7
営業外収益	11,032,000	0		11,032,000	4.0	2,127,751	8,904,249	19.3
特別利益	1,000	0		1,000	0.0	1,754	-754	175.4
資本的収入	61,737,000	0	27,695,000	89,432,000	100.0	0	89,432,000	0.0
負担金	2,192,000	0		2,192,000	2.5	0	2,192,000	0.0
補償金	59,545,000	0	27,695,000	87,240,000	97.5	0	87,240,000	0.0

支出状況

(単位 円)

予算科目	当初予算	補正 流用額	繰越額	現行予算額	構成比 %	4月～10月末 支出済額	予算残額	予算 執行率%
水道事業費	277,150,000	100,000		277,250,000	100.0	141,702,269	135,547,731	51.1
営業費用	248,063,000	100,000		248,163,000	89.5	127,722,225	120,440,775	51.5
営業外費用	28,086,000	0		28,086,000	10.1	13,980,044	14,105,956	49.8
特別損失	1,000	0		1,000	0.0	0	1,000	0.0
予備費	1,000,000	0		1,000,000	0.4	0	1,000,000	0.0
資本的支出	110,549,000	0	44,049,000	154,598,000	100.0	64,560,085	90,037,915	41.8
建設改良費	77,792,000	0	44,049,000	121,841,000	78.8	48,368,370	73,472,630	39.7
企業債償還金	32,757,000	0		32,757,000	21.2	16,191,715	16,565,285	49.4

平成17年度二見町水道事業損益計算書

(平成17年4月1日から平成17年10月31日まで)

(単位 円)

1. 営業収益			
(1) 給水収益	162,368,417		
(2) その他営業収益	207,000	162,575,417	
2. 営業費用			
(1) 原水費	71,721,486		
(2) 配水及び給水費	1,580,573		
(3) 総係費	23,093,563		
(4) 減価償却費	26,630,740		
(5) 資産減耗費	917,673		
		123,944,035	
営業利益			38,631,382
3. 営業外収益			
(1) 受取利息	27,553		
(2) 雑収益	198		
(3) 加入者分担金	2,000,000	2,027,751	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息	11,897,744		
		11,897,744	9,869,993
経常利益			28,761,389
5. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	1,754		
		1,754	1,754
当年度純利益			28,763,143
前年度繰越利益剰余金			0
当年度未処分利益剰余金			28,763,143

二見町水道事業貸借対照表

(平成17年10月31日)

資 産 の 部

(単位 円)

1. 固定資産		
有形固定資産	1,167,554,039	
無形固定資産	8,644,124	
固定資産合計		1,176,198,163
2. 流動資産		
現金預金	480,156,208	
未収金	60,188,745	
貯蔵品	8,186,249	
前払金	18,110,000	
流動資産合計		566,641,202
資産合計		1,742,839,365

負 債 の 部

3. 流動負債		
未払金	11,096,160	
預かり保証金	955,500	
流動負債合計		12,051,660
負債合計		12,051,660

資 本 の 部

4. 資本金		
自己資本金	208,599,283	
借入資本金	549,627,574	
資本金合計		758,226,857
5. 剰余金		
資本剰余金	894,043,850	
利益剰余金	78,516,998	
剰余金合計		972,560,848
資本合計		1,730,787,705
負債資本合計	35	1,742,839,365

平成17年度 下半期(10月まで)小俣町水道事業の業務状況

事業の概要

総括事項

水道は、私達が健康で快適な生活と社会経済活動を行うために欠くことのできない生活基盤施設です。

水道事業も町内住宅地はすべて供用を開始しており、今や町内のほとんどの皆様に水を供給し、10月末現在で6,675戸の家庭や事業所に水道を利用していただいております。

安全で安定した水を供給することは、水道の最も重要な条件です。

しかし、地震や渇水等の災害はいつやってくるかわかりません。このような時でも絶えることなく給水できるように、第3次拡張水道整備計画に基づく施設整備工事と下水道事業に伴う管の布設替工事を行っております。これからも、給水サービスのより一層の向上をはかり、経営の効率化と業務の能率的な執行につとめてまいります。

経理の状況

上半期の収益的収支は、収益が138,410,745円、費用が135,998,628円で差引2,412,117円の黒字となっています。

収益の内訳は、水道料金121,122,607円、他会計負担金及び補助金16,299,833円、その他988,305円であり、費用の内訳は、原水及び浄水費41,835,324円、配水及び給水費18,170,110円、受託工事費4,119円、総係費15,191,048円、減価償却費39,490,361円、企業債利息14,620,754円、その他6,686,912円となっています。

資本的収支では、収入26,609,950円、に対し、支出は、配水施設拡張費12,755,506円、改良費28,124,250円、営業設備費175,195円、第三次拡張事業費59,429,500円、企業債償還17,469,897円となっています。

なお、これにより消費税を差し引いた損益計算書では、収益は132,625,275

円、費用は 133,714,325 円となり、10 月末の経営純損失は 1,089,050 円となります。

建設改良事業

本年度の建設改良事業費は繰越事業費 5,740 千円を含めると、総額 250,991 千円となります。

主な工事として、配水拡張事業費 34,004 千円、下水道事業等町関連事業 72,376 千円、第 3 次拡張事業費 107,677 千円、その他 36,934 千円となっており、町内各地で工事を実施します。

10 月末の工事状況は、配水拡張工事 7,913 千円、下水道事業等町関連事業 22,065 千円の契約発注を済まし、完了しました。

引き続き、第 3 次拡張事業により一層力を入れて進めてまいります。

上半期（4 月 1 日から 10 月 31 日まで）の営業内容は、次のとおりです。

区 分	平成 17 年度 (10 月末)	平成 16 年度	対前年比
給 水 戸 数 (戸)	6,675	6,692	1.00
総 配 水 量 (m ³)	1,191,847	2,309,486	0.52
1 日最大配水量 (m ³)	7,242	7,464	0.97
1 日平均配水量 (m ³)	6,513	6,327	1.03
有 収 水 量 (m ³)	1,093,728	2,109,267	0.52
有 収 率 (%)	91.77	91.33	1.00

平成17年度 小俣町水道事業会計予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区 分	予 算 額			合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法24条 第3項の規定による支出 額に係る財源充当額				
第1款 水道事業収益	262,444,000	0	0	262,444,000	138,410,745	124,033,255	(5,785,470)
第1項 営業収益	235,254,000	0	0	235,254,000	122,009,470	113,244,530	(5,784,558)
第2項 営業外収益	27,189,000	0	0	27,189,000	16,401,275	10,787,725	(912)
第3項 特別利益	1,000	0	0	1,000	0	1,000	(0)
合 計	262,444,000	0	0	262,444,000	138,410,745	124,033,255	(5,785,470)

支出

(単位：円)

区 分	予 算 額						合 計	決 算 額	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第 24条第3項の規 定による支出額	小 計					
第2款 水道事業費用	260,975,000	1,951,000	0	0	0	259,024,000	0	259,024,000	135,998,628	0	123,025,372 (2,284,303)
第1項 営業費用	224,186,000	1,951,000	0	0	0	222,235,000	0	222,235,000	120,738,985	0	101,496,015 (1,958,378)
第2項 営業外費用	35,788,000	0	0	0	0	35,788,000	0	35,788,000	15,259,643	0	20,528,357 (325,925)
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0	0	1,000 (0)
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0	0	1,000,000 (0)
合 計	260,975,000	1,951,000	0	0	0	259,024,000	0	259,024,000	135,998,628	0	123,025,372 (2,284,303)

備考欄 2,284,303円の内訳は消費税納付額 330,100円と 営業費用に含まれる消費税2,735,594円から、収益的収入の特定収入に含まれる消費税 776,182円を差し引きさらに、特定収入に含まれる消費税の計算差額 5,209円を差し引いた額である。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額					合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26 条の規定による繰越額 に係る財源充当額	継続費通次繰越額 に係る財源充当額				
第4款 資本的収入	66,111,000	0	66,111,000	0	0	66,111,000	26,609,950	39,501,050	(693,000)
第1項 工事負担金	23,735,000	0	23,735,000	0	0	23,735,000	14,553,000	9,182,000	(693,000)
第2項 負担金及び補助金	42,376,000	0	42,376,000	0	0	42,376,000	12,056,950	30,319,050	(0)
第3項 企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額							決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 通次繰越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 通次繰越額	合 計		
第5款 資本的支出	282,507,000	1,546,000	0	280,961,000	5,740,000	0	286,701,000	117,954,348	0	0	0	168,746,652	(4,546,076)
第1項 建設改良費	246,797,000	1,546,000	0	245,251,000	5,740,000	0	250,991,000	100,484,451	0	0	0	150,506,549	(4,546,076)
第2項 企業債償還金	35,710,000	0	0	35,710,000	0	0	35,710,000	17,469,897	0	0	0	18,240,103	(0)

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 91,344,398円は、過年度分損益勘定留保資金で補填した。
なお、当年度損益勘定留保資金残高は、110,963,884円である。

損 益 計 算 書

自平成17年4月1日 至平成17年10月31日

(単位： 円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
水道事業営業費用	118,780,607	水道事業営業収益	116,224,912
原水及び浄水費	40,408,421	給水収益	115,357,483
配水及び給水費	17,803,406	受託工事収益	32,004
受託工事費	4,119	その他の営業収益	835,425
総係費	15,026,277		
減価償却費	39,490,361		
資産減耗費	5,939,358		
その他営業費用	108,665		
水道事業営業外費用	14,933,718	水道事業営業外収益	16,400,363
支払利息及び		受取利息及び配当金	729
企業債取扱諸費	14,620,754	他会計負担金及び補助金	16,299,833
雑支出	312,964	雑収益	99,801
特別損失	0	特別利益	0
固定資産売却損	0	固定資産売却益	0
		当年度純損失	1,089,050
合 計	133,714,325	合 計	133,714,325

貸 借 対 照 表

平成17年10月31日現在

(単位： 円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
固定資産	3,409,650,114	固定負債	29,538,000
有形固定資産	3,353,311,139	退職給与引当金	0
土地	113,627,897	修繕引当金	29,538,000
建築物	69,730,703	流動負債	24,899,278
構築物	3,348,214,839	未払金	24,824,343
機械及び装置	642,882,647	前受金	7,141
車両運搬具	2,961,340	その他の流動負債	67,794
工具・器具及び備品	6,704,642	資本の部	
建設仮勘定	34,079,524	資本金	838,828,683
減価償却累計額	864,890,453	自己資本金	79,292,750
無形固定資産	6,284,400	借入資本金	759,535,933
施設利用権	629,400	剰余金	2,778,838,119
水利権	5,655,000	資本剰余金	2,681,785,315
投資	50,054,575	受贈財産評価額	53,052,822
出資金	50,054,575	寄付金	0
流動資産	262,453,966	工事負担金	828,914,846
現金預金	234,493,566	その他資本剰余金	1,799,817,647
未収金	18,747,976	利益剰余金	97,052,804
前払金	0	繰越利益剰余金	30,652,804
貯蔵品	8,123,374	減債積立金	41,400,000
その他流動資産	0	建設改良積立金	25,000,000
当年度純損失	1,089,050		
資産合計	3,672,104,080	負債・資本合計	3,672,104,080

平成17年度 下半期(11月～3月)伊勢市水道事業の業務状況

1 事業の概要

今回の概要は、市町村合併後の決算のため平成17年11月から平成18年3月末の状況となっておりますが、合併前に引き続き、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、年次計画に基づく老朽配水本管の更新や増口径管への布設替工事のほか、配水本管の未整備地区への新規布設工事並びに二見ライン配水本管接続工事、施設の整備改良工事等を実施するとともに、下水道工事などに伴う配水本管の布設替工事等を実施しました。さらに、上水道安全対策事業としまして、前山加圧ポンプ場改修工事等を実施しました。

また、窓口業務、料金請求事務等につきましては、委託範囲の拡大及び検針業務の追加を行い、平成20年度までの契約を行いました。

事業運営面では、平成18年3月末現在、配水量におきましては前年同期に比し1.4%減少し、有収水量におきましては、0.3%増加となりました。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして、消費税を除き事業収益1,280,071千円、事業費用1,146,664千円の執行となり、133,407千円の純利益を生じ、当年度未処分利益剰余金は、518,739千円となりました。

一方、資本的収支におきましては、収入333,614千円、支出629,963千円となり、296,349千円の収支不足となりましたが、減債積立金等で補てんいたしました。

今後につきましても、事業費用を圧迫する受水費、企業債償還金等の諸経費とともに、計画的な施設の整備改良事業の推進などにより、事業運営が厳しくなることが予測されますが、あくまで独立採算制の堅持を第一目標とし、経費節減はもとより、公共性と経済性の調和を図りながら効率的な運営に努め、給水の安定、市民サービスの向上になお一層の努力を重ねる所存であります。

2 給水状況

(1) 給水戸数と給水人口

区分	H17.3.31	H18.3.31	増減	増減率(%)	
上水道	給水戸数	52,824戸	53,278戸	454戸	100.9%
	給水人口	136,471人	135,725人	746人	99.5%
簡易水道	給水戸数	65戸	64戸	1戸	98.5%
	給水人口	116人	113人	3人	97.4%

H17.3.31については、合併前の旧市町村の合計

(2) 給水収益(税込み)

(単位 千円)

区分	調定額	収入額	収入率(%)
上水道	1,269,981	1,208,709	95.2
簡易水道	868	831	95.7

(3) 配水量と有収水量

(単位 m³)

区 分		平成16年度	平成17年度	増 減	増減率 (%)
上水道	配水量	7,960,586	7,851,655	108,931	98.6
	有収水量	6,835,666	6,858,539	22,873	100.3
	有収率 (%)	85.9	87.4	1.5	
簡易水道	配水量	6,315	6,801	486	107.7
	有収水量	5,043	4,749	294	94.2
	有収率 (%)	79.9	69.8	10.1	

平成16年度については、合併前の旧市町村の同年度11月からの集計

3 職員に関する事項

(単位 人)

区 分	事務吏員	技術吏員	事務員	その他職員	嘱 託	計
H17.10.31	12.5	14	0	21	16	63.5
H18.3.31	12	13	0	21	15	61

H17.10.31は、合併前の旧市町村の職員を合計

4 経理の状況

(単位 円)

(1)平成17年度伊勢市水道事業予算執行状況		平成 17 年 11 月 1 日 から 平成 18 年 3 月 31 日まで			
区 分	予算額(A)	執行額(B)	予算残額	B / A %	
(収益的収支)					
水道事業収益	1,304,514,000	1,342,328,459	37,814,459	102.9	
営業収益	1,272,962,000	1,301,184,212	28,222,212	102.2	
営業外収益	29,784,000	39,362,023	9,578,023	132.2	
簡易水道収益	1,303,000	1,318,014	15,014	101.2	
特別利益	465,000	464,210	790	99.8	
水道事業費用	1,310,625,000	1,196,299,306	114,325,694	91.3	
営業費用	1,080,768,000	988,772,798	91,995,202	91.5	
営業外費用	215,145,000	206,507,777	8,637,223	96.0	
簡易水道費用	2,712,000	1,018,731	1,693,269	37.6	
予備費	12,000,000	0	12,000,000	0.0	
(資本的収支)					
資本的収入	532,122,000	333,613,529	198,508,471	62.7	
企業債	180,500,000	176,500,000	4,000,000	97.8	
負担金	291,074,000	96,565,029	194,508,971	33.2	
出資金	60,500,000	60,500,000	0	100.0	
固定資産売却代金	48,000	48,500	500	101.0	
資本的支出	912,119,000	629,962,783	282,156,217	69.1	
建設改良費	657,576,000	376,215,757	281,360,243	57.2	
償還金	254,543,000	253,747,026	795,974	99.7	

(単位 円)

(2)平成17年度伊勢市水道事業損益計算書		平成17年11月1日から 平成18年3月31日まで	
		借 方	貸 方
水道事業費用	1,146,664,038	水道事業収益	1,280,071,818
営業費用	965,233,136	営業収益	1,240,610,865
原水費	377,357,200	給水収益	1,209,506,660
配水及び給水費	161,738,503	受託工事収益	2,194,100
受託工事費	4,374,565	その他営業収益	28,910,105
総係費	163,611,113	営業外収益	37,720,015
減価償却費	237,478,593	受取利息及び配当金	577,304
資産減耗費	20,671,762	雑収益	4,665,599
その他営業費用	1,400	朝熊山分担金	2,005,112
営業外費用	180,438,736	加入金	30,472,000
支払利息及び 企業債取扱諸費	140,691,442	簡易水道収益	1,276,728
雑支出	35,716,037	給水収益	826,728
朝熊山雑支出	4,031,257	雑収益	450,000
簡易水道費用	992,166	特別利益	464,210
簡易水道費	992,166	固定資産売却益	464,210
当期純利益	133,407,780		
合計	1,280,071,818	合計	1,280,071,818

(単位 円)

(3)平成17年度伊勢市水道事業貸借対照表		平成18年3月31日	
借 方		貸 方	
固 定 資 産	18,241,229,985	固 定 負 債	473,715,617
有 形 固 定 資 産	18,012,433,348	引 当 金	473,715,617
土 地	1,342,353,307	退 職 給 与 引 当 金	225,276,348
建 物	762,966,830	修 繕 引 当 金	248,439,269
減 価 償 却 累 計 額	292,756,980	流 動 負 債	270,993,819
構 築 物	22,250,317,659	未 払 金	268,480,698
減 価 償 却 累 計 額	7,478,605,257	貯 蔵 品 購 入 未 払 金	116,949
機 械 及 び 装 置	2,855,237,650	営 業 未 払 金	115,720,899
減 価 償 却 累 計 額	1,470,496,412	営 業 外 未 払 金	38,972
車 両 運 搬 具	24,174,359	未 払 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	26,095,500
減 価 償 却 累 計 額	16,500,389	そ の 他 未 払 金	126,508,378
工 具、器 具 及 び 備 品	58,488,399	前 受 金	12,539
減 価 償 却 累 計 額	44,637,249	営 業 前 受 金	12,539
建 設 仮 勘 定	21,891,431	預 り 金	1,500,582
無 形 固 定 資 産	178,742,062	預 り 金	1,500,582
施 設 利 用 権	162,029,398	そ の 他 流 動 負 債	1,000,000
ソ フ ト ウ エ ア	16,712,664	預 り 金	1,000,000
投 資	50,054,575	資 本 金	10,741,266,661
投 資 有 価 証 券	50,054,575	自 己 資 本 金	3,543,356,175
流 動 資 産	2,980,492,094	借 入 資 本 金	7,197,910,486
現 金 預 金	2,636,822,651	企 業 債	7,197,910,486
預 金	2,636,822,651	剰 余 金	9,735,745,982
未 収 金	282,877,703	資 本 剰 余 金	9,083,440,131
営 業 未 収 金	226,672,772	受 贈 財 産 評 価 額	1,849,692,697
営 業 外 未 収 金	2,227,832	負 担 金	4,711,438,564
そ の 他 未 収 金	53,977,099	補 助 金	512,467,018
貯 蔵 品	34,471,740	そ の 他 資 本 剰 余 金	2,009,841,852
原 材 料	34,471,740	利 益 剰 余 金	652,305,851
前 払 金	25,320,000	建 設 改 良 積 立 金	133,566,598
前 払 金	25,320,000	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	518,739,253
そ の 他 流 動 資 産	1,000,000		
保 管 有 価 証 券	1,000,000		
合 計	21,221,722,079	合 計	21,221,722,079

5 平成18年度予算の概要と事業運営方針

本年度の水道事業は、安定給水の確保と有収率の向上を図り効率的な維持管理を行うため、年次計画に基づき、老朽配水本管の布設替工事、増口径管敷設替工事、配水本管の未整備地区への新規布設工事及び下水道工事等に伴う配水本管布設替工事等を主なものとして予定しました。

事業運営面では、給水戸数53,680戸を予定し、年間総給水量においては18,983千 m^3 を予定しました。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして、消費税等税込み額で水道料金等の営業収益3,080,168千円、営業外収益71,537千円、簡易水道収益1,801千円、特別利益1千円を合わせた水道事業収益3,153,507千円に対しまして、営業費用2,505,320千円、営業外費用374,991千円、簡易水道費用5,339千円、予備費12,000千円を合わせて水道事業費用2,897,650千円を見込み、その結果、収支差引消費税を除きますと、253,056千円の純利益が生じる見込みであります。

一方、資本的収支におきましては、収入267,530千円、支出1,598,537千円となり1,331,007千円の不足額が生じますが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんする見込であります。

今後の運営は、節水型社会が続くなか、老朽配水本管並びに老朽施設の更新、公共関連工事に伴う不可欠な事業を抱え、事業財政は厳しい状況であります。市民に安全でおいしい水を安定供給するため、更なる経費の節減を徹底し、一層の経営努力を重ねる所存であります。

平成 17 年度 下半期（10 月まで）小俣町下水道事業の業務状況

事業の概要

総括事項

下水道事業は、美しい自然環境を守り人々が健康で快適な生活を送るために、欠くことのできない重要な施設です。

下水道事業も平成 5 年に事業着手し、平成 10 年 4 月には一部地域の供用を開始いたしました。その後管渠整備が進み、平成 17 年 3 月末には計画区域 208.8 ha の全域で下水道が利用できるようになりました。この 10 月末現在で既に 2,714 戸が屋内排水設備工事を済ませ、下水道をご利用いただいております。

建設改良事業については、フレックスプランの事業認可区域の拡大をおこなった、六軒屋地区への汚水幹線工事と面整備工事を中心に、開発に伴う受託工事を実施してまいりました。

また、流域関連下水道事業についても明野地区 121.7 ha の事業認可がおりましたので、幹線排水と面整備工事に入りたいと思います。

今後も工事の施工にあたり、住民の方々のご協力とご理解をお願いいたします。

経理の状況

収益的収支

10 月末までの収益的収支は、収益が 151,128,407 円、費用が 195,873,483 円で、差引 44,745,076 円の赤字となっています。

収益の主なものは、下水道料金 40,812,565 円、他会計補助金 100,000,00 円、消費税還付金 10,011,598 円となっております。

費用は、営業費用が 140,222,206 円で、その主なものは人件費 8,645,981 円、動力費 5,553,730 円、委託料 28,753,937 円、薬品費 4,240,770 円、減価償却費 86,179,348 円です。また営業外費用は 55,651,277 円で、そのほとんどが企業債利息 55,594,473 円です。

なお、これにより消費税を差し引いた損益計算書では、収益は 139,168,456 円、費用は 194,920,735 円で、55,752,279 円の赤字となります。

資本的収支

建設改良事業は、昨年からの繰越事業費と当初予定していた事業費で実施いたしました。

繰越事業費を含めた10月末までの資本的収入は96,835,424円で、その内訳は国庫補助金89,570,000円、工事負担金4,845,424円、受益者負担金2,420,000円です。

なお、留保資金10月末残高は30,020,744円で、現金預金の残高223,604,802円と未収金23,666,188円を加えたものから、未払金213,622,320円と前受金1,841,525円、預り金20,401円、引当金1,766,000円を差し引いた金額が30,020,744円となります。

営業内容（4月1日～10月31日）

区 分	平成17年度(10月末)	平成16年度	対前年比
排水戸数(戸)	2,714	2,626	1.03
総排水量(m ³)	460,452	850,471	0.54
1日最大排水量(m ³)	2,915	3,104	0.94
1日平均排水量(m ³)	2,516	2,330	1.08
有収水量(m ³)	453,449	840,591	0.54
有収率(%)	98.48	98.84	

平成17年度 小俣町下水道事業会計予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位 : 円)

区 分	予 算 額			合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法24条 第3項の規定による支出 額に係る財源充当額				
第1款 下水道事業収益	395,369,000	13,447,000	0	381,922,000	151,128,407	230,793,593	(11,959,951)
第1項 営業収益	80,151,000	0	0	80,151,000	40,888,565	39,262,435	(1,942,354)
第2項 営業外収益	315,217,000	13,447,000	0	301,770,000	110,239,842	191,530,158	(10,017,597)
第3項 特別利益	1,000	0	0	1,000	0	1,000	(0)
合 計	395,369,000	13,447,000	0	381,922,000	151,128,407	230,793,593	(11,959,951)

備考欄 11,959,951円の内訳は、消費税還付金 10,011,598円及び営業収益、営業外収益に含まれる消費税 1,948,353円の合計額である。

支 出

(単位 : 円)

区 分	予 算 額							決 算 額	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	不 用 額	備 考	
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第 24条第3項の規 定による支出額	小 計	地方公営企業法第 26条第2項の規 定による繰越額					合 計
第2款 下水道事業費用	381,711,000	14,164,000	0	0	0	367,547,000	0	367,547,000	195,873,483	0	171,673,517	(952,748)
第1項 営業費用	266,847,000	14,242,000	0	0	0	252,605,000	0	252,605,000	140,222,206	0	112,382,794	(953,547)
第2項 営業外費用	114,363,000	78,000	0	0	0	114,441,000	0	114,441,000	55,651,277	0	58,789,723	(799)
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000	0	0	1,000	()
第4項 予備費	500,000	0	0	0	0	500,000	0	500,000	0	0	500,000	()
合 計	381,711,000	14,164,000	0	0	0	367,547,000	0	367,547,000	195,873,483	0	171,673,517	(952,748)

備考欄 952,748円の内訳は、営業費用と営業外費用に含まれる消費税 1,948,459円から収益的収入の特定収入に含まれる消費税 994,848円と収益的収入及び資本的収入の特定収入に含まれる消費税の計算差額 863円を差し引いた額である。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額					決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26 条の規定による繰越額 に係る財源充当額	継続費通次繰越額 に係る財源充当額			
第4款 資本的収入	565,320,000	3,776,000	569,096,000	183,470,000	0	752,566,000	96,835,424	655,730,576 (230,734)
第1項 企業債	425,000,000	0	425,000,000	93,900,000	0	518,900,000	0	518,900,000 (0)
第2項 補助金	135,000,000	0	135,000,000	89,570,000	0	224,570,000	89,570,000	135,000,000 (0)
第3項 負担金	5,320,000	3,776,000	9,096,000	0	0	9,096,000	7,265,424	1,830,576 (230,734)
第4項 出資金	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額							決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 通次繰越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 通次繰越額	合 計		
第5款 資本的支出	791,879,000	2,835,000	0	794,714,000	193,134,000	0	987,848,000	429,342,370	0	0	0	558,505,630 (15,618,413)	
第1項 建設改良費	607,804,000	2,835,000	0	610,639,000	193,134,000	0	803,773,000	339,736,851	0	0	0	464,036,149 (15,618,413)	
第2項 企業債償還金	184,075,000	0	0	184,075,000	0	0	184,075,000	89,605,519	0	0	0	94,469,481 (0)	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 332,506,946円は、過年度分損益勘定留保資金 277,560,784円と現年度分損益勘定留保資金 54,946,162円で補填した。

なお、当年度損益勘定留保資金残高は、30,020,744円である。

損 益 計 算 書

自平成17年4月1日 至平成17年10月31日

(単位： 円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
水道事業営業費用	118,780,607	水道事業営業収益	116,224,912
原水及び浄水費	40,408,421	給水収益	115,357,483
配水及び給水費	17,803,406	受託工事収益	32,004
受託工事費	4,119	その他の営業収益	835,425
総係費	15,026,277		
減価償却費	39,490,361		
資産減耗費	5,939,358		
その他営業費用	108,665		
水道事業営業外費用	14,933,718	水道事業営業外収益	16,400,363
支払利息及び		受取利息及び配当金	729
企業債取扱諸費	14,620,754	他会計負担金及び補助金	16,299,833
雑支出	312,964	雑収益	99,801
特別損失	0	特別利益	0
固定資産売却損	0	固定資産売却益	0
		当年度純損失	1,089,050
合 計	133,714,325	合 計	133,714,325

貸 借 対 照 表

平成17年10月31日現在

(単位： 円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
固定資産	3,409,650,114	固定負債	29,538,000
有形固定資産	3,353,311,139	退職給与引当金	0
土地	113,627,897	修繕引当金	29,538,000
建築物	69,730,703	流動負債	24,899,278
構築物	3,348,214,839	未払金	24,824,343
機械及び装置	642,882,647	前受金	7,141
車両運搬具	2,961,340	その他の流動負債	67,794
工具・器具及び備品	6,704,642	資本の部	
建設仮勘定	34,079,524	資本金	838,828,683
減価償却累計額	864,890,453	自己資本金	79,292,750
無形固定資産	6,284,400	借入資本金	759,535,933
施設利用権	629,400	剰余金	2,778,838,119
水利権	5,655,000	資本剰余金	2,681,785,315
投資	50,054,575	受贈財産評価額	53,052,822
出資金	50,054,575	寄付金	0
流動資産	262,453,966	工事負担金	828,914,846
現金預金	234,493,566	その他資本剰余金	1,799,817,647
未収金	18,747,976	利益剰余金	97,052,804
前払金	0	繰越利益剰余金	30,652,804
貯蔵品	8,123,374	減債積立金	41,400,000
その他流動資産	0	建設改良積立金	25,000,000
当年度純損失	1,089,050		
資産合計	3,672,104,080	負債・資本合計	3,672,104,080

平成 17 年度 下半期(11 月～3 月)伊勢市下水道事業の業務状況

1 事業の概要

旧伊勢市の区域につきまして、汚水施設整備事業は、流域関連公共下水道事業第 1 期事業認可区域の 326.8ha について平成 11 年度に着手し、平成 18 年 6 月の供用開始に向け汚水管渠の幹線築造及び面整備工事を進めてきました。また、平成 17 年 6 月に第 2 期事業計画の認可を受け、整備区域を 543.0ha に拡大し、実施設計に着手しました。

特定環境保全公共下水道(五十鈴川処理区)につきましては、平成 10 年度の供用開始以降、平成 17 年度も五十鈴川中村浄化センターの維持管理を行うとともに、処理区域内の下水道施設の整備を行い水洗化の促進に努めました。

雨水施設整備事業は、汚水施設整備事業と同様に事業認可区域の 174.9ha について平成 11 年度に着手しました。平成 14 年度には整備区域を 250.5ha に拡大し、馬瀬第 1 ポンプ場の整備を進め、平成 16 年度から平成 17 年度にポンプ場の下部工事を実施し、引き続き建築工事にも着手しました。また、平成 17 年 6 月に第 2 期事業計画の変更認可を受け整備面積を 323.4ha に拡大し、雨水幹線の整備を行い浸水対策に努めています。

周辺環境整備事業については、宮川流域下水道事業(宮川処理区)浄化センター建設に伴い、周辺の環境保全と地域住民の福祉に資する公共施設の工事を行いました。

二見町の区域につきまして、汚水施設整備事業は、流域関連公共下水道事業第 1 期事業認可区域の 29.2ha について平成 12 年度に着手し、平成 18 年 6 月の供用開始に向け汚水管渠の幹線築造及び面整備工事を進めてきました。また、平成 17 年 10 月に第 2 期事業計画の認可を受け、整備区域を 86.0ha に拡大しました。

雨水施設整備事業は、二見町溝口浸水対策下水道事業として、平成 16 年 8 月に伊勢都市計画下水道事業変更認可(約 52ha)を受け、平成 17 年 10 月に 2 ポンプ場の土木・建築工事、及び機械・電気工事に着手しました。

特定環境保全公共下水道については、すでに供用開始している茶屋処理区における茶屋クリーンセンターの機能保持及び安全運行を図るため、適正な維持管理に努めました。

小俣町の区域につきましては、汚水施設整備事業は、単独公共下水道事業として平成 4 年度に着手し、平成 10 年度に一部供用開始、認可区域を拡大しながら平成 17 年度には計画区域全域 217.5ha の供用を開始しています。また、流域関連公共下水道事業認可区域の 121.7ha について、平成 17 年度に着手し、平成 22 年の供用開始に向け汚水管渠の面整備工事を進めています。

御園町の区域につきましては、汚水施設整備事業は、流域関連公共下水道事業第 1 期事業認可区域として平成 11 年度に 51.0ha の事業認可を受け事業着手し、平成 18 年度の一部供用開始に向け汚水管渠の幹線築造及び面整備工事を進めてきました。平成 14 年度に 51.0ha、平成 17 年度には更に 100.0ha の事業認可を受け、整備区域を 202.0ha に拡大し事業を進めています。

雨水施設整備事業は、平成 14 年度に幹線管渠 970m 及び小林ポンプ場施設(スクリーポンプ 4 台の内 2 台・水中ポンプ 1 台)の事業認可を受けて事業着手し、平成 16 年から平成 17 年度に小林ポンプ場の土木建築工事を実施しました。幹線管渠につきましては、用地買収及び工事を進め浸水対策に努めています。

2 下水道普及率

(平成18年3月31日現在)

	行政区域内人口 (A)	処理区域内人口 (B)	普及率 (B/A)
計	136,583人	16,035人	11.7%

3 職員に関する事項

(単位 人)

区 分	事務吏員	技術吏員	事務員	その他 職員	嘱 託	計
H17.10.31	21.5	21	0	2	2	46.5
H18.3.31	22	20	0	2	3	47

H17.10.31 は、合併前の旧市町村の職員を合計

4 経理の状況

(単位 円)

(1)平成17年度伊勢市下水道事業予算執行状況		平成17年11月1日 から 平成18年3月31日 まで		
		区 分	予算額(A)	執行額(B)
(収益的収支)				
下水道事業収益	438,200,000	525,274,651	87,074,651	119.9
営業収益	236,588,000	242,890,266	6,302,266	102.7
営業外収益	201,611,000	282,384,385	80,773,385	140.1
特別利益	1,000	0	1,000	0.0
下水道事業費用	654,138,000	610,386,622	43,751,378	93.3
営業費用	432,200,085	398,271,948	33,928,137	92.1
営業外費用	217,854,915	212,114,674	5,740,241	97.4
特別損失	1,000	0	1,000	0.0
予備費	4,082,000	0	4,082,000	0.0
(資本的収支)				
資本的収入	6,636,342,000	4,772,457,762	1,863,884,238	71.9
企業債	4,366,800,000	3,344,200,000	1,022,600,000	76.6
負担金	258,466,000	269,390,580	10,924,580	104.2
国庫補助金	1,977,191,000	1,137,938,182	839,252,818	57.6
県補助金	33,885,000	20,929,000	12,956,000	61.8
資本的支出	5,770,930,000	3,587,402,263	2,183,527,737	62.2
建設改良費	5,536,043,000	3,352,721,631	2,183,321,369	60.6
企業債償還金	234,687,000	234,680,632	6,368	100.0
受益者負担金返還金	200,000	0	200,000	0.0

(単位円)

(2)平成17年度伊勢市下水道事業損益計算書		平成 17 年 11 月 1 日 から	
		平成 18 年 3 月 31 日 まで	
借 方		貸 方	
下水道事業費用	600,241,928	下水道事業収益	436,990,740
営業費用	390,376,591	営業収益	235,364,613
汚水管渠費	2,349,027	下水道使用料	101,152,727
雨水管渠費	94,667	他会計負担金	84,572,000
ポンプ場費	4,754,436	受託事業収益	49,360,952
処理場費	72,712,388	その他営業収益	278,934
普及促進費	7,348,392	営業外利益	201,626,127
業務費	14,213,973	受取利息及び配当金	325,000
総係費	81,135,620	他会計負担金	57,835,000
受託工事費	41,026,713	他会計補助金	61,479,000
汚水減価償却費	132,081,975	県補助金	81,909,000
雨水減価償却費	31,026,804	雑収益	78,127
資産減耗費	3,632,596	当期純損失	163,251,188
営業外費用	209,865,337		
支払利息及び 企業債取扱諸費	208,227,064		
水洗便所設置費 補助金	11,740		
雑支出	1,626,533		
合 計	600,241,928	合 計	600,241,928

(単位円)

(3)平成17年度伊勢市下水道事業貸借対照表		平成18年3月31日	
借 方		貸 方	
固定資産	42,941,195,649	固定負債	3,766,000
汚水有形固定資産	37,461,604,067	引当金	3,766,000
土地	209,548,569	修繕引当金	3,766,000
立木	3,119,863	流動負債	2,455,744,829
建物	1,158,173,521	未払金	2,454,735,379
減価償却累計額	49,343,782	前受金	9,450
構築物	13,596,709,950	その他流動負債	1,000,000
減価償却累計額	622,669,634	資本金	28,983,410,421
機械及び装置	3,742,601,259	自己資本金	5,773,352,117
減価償却累計額	339,556,238	借入資本金	23,210,058,304
車両運搬具	2,505,312	企業債	23,210,058,304
減価償却累計額	1,494,734	剰余金	14,965,879,287
工具、器具及び備品	24,439,285	資本剰余金	15,185,598,904
減価償却累計額	7,756,399	受贈財産評価額	10,858,920
建設仮勘定	19,745,327,095	他会計負担金	222,488,000
雨水有形固定資産	5,384,299,753	受益者負担金	513,432,879
土地	595,565,191	工事負担金	170,888,748
建物	1,050,428,572	周辺環境整備事業負担金	198,200,400
減価償却累計額	1,989,646	他会計補助金	700,980,604
構築物	1,606,870,969	補助金	13,292,898,378
減価償却累計額	8,353,455	その他資本剰余金	75,850,975
機械及び装置	1,053,775,455	欠損金	219,719,617
減価償却累計額	20,683,703	当年度未処理欠損金	219,719,617
建設仮勘定	1,108,686,370		
汚水無形固定資産	45,237,254		
施設利用権	41,876,778		
電話加入権	75,000		
ソフトウェア	3,285,476		
投資	50,054,575		
投資有価証券	50,054,575		
流動資産	3,467,604,888		
現金預金	3,033,463,427		
未収金	314,399,961		
前払金	118,741,500		
その他流動資産	1,000,000		
合 計	46,408,800,537	合 計	46,408,800,537

5 平成18年度予算の概要と事業運営方針

本年度の下水道事業につきまして、汚水施設整備事業は、流域関連公共下水道の一部地域におきまして利用が可能になりますが、引き続き処理区域の拡大を図るため汚水管渠の幹線築造及び面整備等を予定し、雨水施設整備事業としましては、浸水対策のための雨水管渠敷設工事及びポンプ場築造工事等を主なものとして予定しました。

事業運営面では、排水戸数7,761戸を予定し、年間総排水量においては2,098千 m^3 を予定しました。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして、消費税等税込み額で下水道使用料等の営業収益406,226千円、営業外収益1,275,829千円、特別利益1千円を合わせて下水道事業収益1,682,056千円に対し、営業費用1,048,620千円、営業外費用516,613千円、特別損失1千円、予備費4,500千円を合わせて下水道事業費用1,569,734千円を見込み、その結果、収支差引消費税を除きますと、81,800千円の純利益が生じる見込みであります。

一方、資本的収支におきましては、収入6,263,895千円、支出6,431,166千円となり167,271千円の不足額が生じますが、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする見込みであります。

今後の運営は、流域関連公共下水道事業計画の推進と供用を開始した施設の維持管理等を抱え、事業財政は厳しい状況であります。経費節減はもとより、公共性と経済性の調和を図りながら効率的な運営に努め、住環境の改善と公共用水域の水質保全により市民サービスの向上になお一層の努力を重ねる所存であります。

平成17年度 小俣町認知症対応型共同生活介護事業会計
下半期(10月まで)業務状況

事業の概要

総括事項

小俣町認知症対応型共同生活介護(おばたグループホーム)は、介護保険法による要介護者であって、認知症の状態にある者について、共同生活を営むことにより、家庭的な環境のもとで入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活の世話、及び機能訓練を営むことができるようにするために設置しました。

平成17年4月1日からの入居者は9人、平成17年10月末現在9人の方が利用しております。

経理の状況

上半期の収益的収支は、収入が19,850,468円、費用は20,838,072円で差引987,604円の損失となり、費用が収益を上回りました。

収益の内訳は、事業収益としてグループホーム使用料5,062,200円、介護報酬14,788,264円、営業外収益が受取利子4円です。

費用は、営業費用が20,838,072円で、その内訳は委託料20,500,000円、減価償却費338,072円です。

上半期(4月1日から10月31日まで)の営業内容

区 分	平成16年度	平成17年度	対前年比
入居者数	11	9	2
退居者数	2	0	2

平成17年度 小俣町認知症対応型共同生活介護事業会計予算執行状況(4月～10月)

(1) 収入的収入及び支出

収入

(単位：円)

区 分	予 算 額				執行額	予算額に比べ 執行額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による 支出額に係る財源充当額	合 計			
第1款 グループホーム事業収益	35,114,000	0	0	35,114,000	19,850,468	15,263,532	
第1項 営業収益	35,113,000	0	0	35,113,000	19,850,464	15,262,536	
第2項 営業外収益	1,000	0	0	1,000	4	996	
合 計	35,114,000	0	0	35,114,000	19,850,468	15,263,532	

支出

(単位：円)

区 分	予 算 額								執行額	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越額	予算額に比べ 執行額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法 第24条第3項の 規定による支出額	小 計	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越額	合 計				
第2款 グループホーム事業費用	33,352,000	0	0	0	0	33,352,000	0	33,357,000	20,838,072	0	12,518,928	
第1項 営業費用	33,177,000	0	0	0	0	33,177,000	0	33,177,000	20,838,072	0	12,338,928	
第2項 営業外費用	175,000	0	0	0	0	175,000	0	175,000	0	0	175,000	
第3款 予備費	5,000	0	0	0	0	5,000	0	5,000	0	0	5,000	
合 計	33,357,000	0	0	0	0	33,357,000	0	33,357,000	20,838,072	0	12,518,928	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額						執行額	予算額に比 べ執行額の 増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第2条の規定 による繰越額に 係る財源充当	継続費通次 繰越額に係る 財源充当額	合 計			
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	

支 出

区 分	予 算 額							執行額	翌年度繰越額			予算額に比 べ執行額の 増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費通次繰越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費通次繰越額	合 計		
第4款 資本的支出	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	0	0	1,745,000	
第1項 企業償還金	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	1,745,000	0			0	1,745,000	
合 計	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	0	0	1,745,000	

損益計算書

自 平成17年4月1日 至 平成17年10月31日

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
グループホーム事業営業費用	20,838,072	グループホーム事業営業収益	19,850,464
委託料	20,500,000	グループホーム使用料	5,062,200
減価償却費	338,072	介護報酬	14,788,264
その他営業費用	0	その他営業収益	
グループホーム事業営業外費用	0	グループホーム事業営業外費用	4
支払利息	0	受取利息及び配当金	4
雑支出	0	雑収益	0
		当年度純損失	987,604
合 計	20,838,072	合 計	20,838,072

貸借対照表

平成17年10月31日現在

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	93,595,993	流動負債	0
有形固定資産	93,441,993	一時借入金	0
建物	84,348,600		
構築物	610,050	(資本の部)	
工具・器具及び備品	10,186,470	資本金	20,893,398
車両及び運搬具	692,945	繰入資本金	10,000,000
減価償却累計額	2,396,072	借入資本金	10,893,398
無形固定資産	154,000	剰余金	84,018,563
電話加入権	154,000	資本剰余金	81,082,015
流動資産	11,315,968	国庫補助金	22,000,000
現金預金	7,983,160	県補助金	11,000,000
未収金	3,332,808	他会計補助金	48,005,015
前払金		その他資本剰余金	77,000
		利益剰余金	2,936,548
		前年度繰越利益剰余金	3,924,152
		当年度純損失	987,604
資 産 合 計	104,911,961	負 債 ・ 資 本 合 計	104,911,961

平成17年度 伊勢市認知症対応型共同生活介護事業会計
下半期(11月～3月)業務状況

事業の概要

総括事項

伊勢市認知症対応型共同生活介護(おばたグループホーム)は、介護保険法による要介護者であって、認知症の状態にある者について、共同生活を営むことにより、家庭的な環境のもとで入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活の世話、及び機能訓練を営むことができるようにするために設置しました。

平成17年度11月1日からの入居者延人数は10人で、期間中1人の退居、1人の入居があり、平成18年3月末現在9人の方が利用しております。

経理の状況

下半期の収益的収支は、収入が15,080,836円、費用は13,507,431円で差引1,573,405円となり、収益が費用を上回りました。

収益の内訳は、事業収益としてグループホーム使用料3,524,495円、介護報酬10,188,764円、その他営業費用が1,367,565円、営業外収益が受取利子12円です。

費用は、営業費用が13,329,636円で、その内訳は委託料12,000,000円、減価償却費1,252,536円、その他営業費用3,600円、備消耗品費73,500円、営業外費用は177,795円で、その内訳は支払利息174,295円、雑支出3,500円です。

下半期(11月1日から3月31日まで)の営業内容

区 分	平成16年度	平成17年度	対前年比
入居者数	11	10	1
退居者数	2	1	1

平成17年度 伊勢市認知症対応型共同生活介護事業会計予算執行状況(下半期・11月～3月)

(1) 収入的収入及び支出

収入

(単位：円)

区 分	予 算 額				執行額	予算額に比べ 執行額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による 支出額に係る財源充当額	合 計			
第1款 グループホーム事業収益	14,542,000	360,000	0	14,182,000	15,080,836	898,836	
第1項 営業収益	14,541,000	360,000	0	14,181,000	15,080,824	899,824	
第2項 営業外収益	1,000	0	0	1,000	12	988	
合 計	14,542,000	360,000	0	14,182,000	15,080,836	898,836	

支出

(単位：円)

区 分	予 算 額								執行額	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越額	予算額に比べ 執行額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法 第24条第3項の 規定による支出額	小 計	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越額	合 計				
第1款 グループホーム事業費用	12,549,000	984,000	0	0	0	13,533,000	0	13,538,000	13,507,431	0	30,569	
第1項 営業費用	12,370,000	984,000	0	0	0	13,354,000	0	13,354,000	13,329,636	0	24,364	
第2項 営業外費用	179,000	0	0	0	0	179,000	0	179,000	177,795	0	1,205	
第3項 予備費	5,000	0	0	0	0	5,000	0	5,000	0	0	5,000	
合 計	12,554,000	984,000	0	0	0	13,538,000	0	13,538,000	13,507,431	0	30,569	

(2) 資本的収入及び支出

収入

区 分	予 算 額						執行額	予算額に比 べ執行額の 増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第2条の規定 による繰越額に 係る財源充当	継続費通次 繰越額に係る 財源充当額	合 計			
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	

支出

区 分	予 算 額							執行額	翌年度繰越額			予算額に比 べ執行額の 増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費通次繰越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費通次繰越額	合 計		
第1款 資本的支出	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	1,745,000	1,744,288	0	0	0	712	
第1項 企業償還金	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	1,745,000	1,744,288			0	712	
合 計	1,745,000	0	0	1,745,000	0	0	1,745,000	1,744,288	0	0	0	712	

損益計算書

自 平成17年11月1日 至 平成18年3月31日

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
グループホーム事業営業費用	13,329,636	グループホーム事業営業収益	15,080,824
委託料	12,000,000	グループホーム使用料	3,524,495
減価償却費	1,252,536	介護報酬	10,188,764
その他営業費用	3,600	その他営業収益	1,367,565
備消耗品費	73,500		
グループホーム事業営業外費用	177,795	グループホーム事業営業外費用	12
支払利息	174,295	受取利息及び配当金	12
雑支出	3,500	雑収益	0
		当年度純利益	1,573,405
合 計	13,507,431	合 計	13,507,431

貸借対照表

平成18年3月31日現在

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	92,343,457	流動負債	0
有形固定資産	92,189,457	一時借入金	0
建物	84,348,600		
構築物	610,050	(資本の部)	
工具・器具及び備品	10,186,470	資本金	19,149,110
車両及び運搬具	692,945	繰入資本金	10,000,000
減価償却累計額	3,648,608	借入資本金	9,149,110
無形固定資産	154,000	剰余金	85,591,968
電話加入権	154,000	資本剰余金	81,082,015
流動資産	12,397,621	国庫補助金	22,000,000
現金預金	7,583,812	県補助金	11,000,000
未収金	4,813,809	他会計補助金	48,005,015
前払金	0	その他資本剰余金	77,000
		利益剰余金	4,509,953
		前年度繰越利益剰余金	2,936,548
		当年度純利益	1,573,405
資 産 合 計	104,741,078	負 債 ・ 資 本 合 計	104,741,078

平成18年度予算の概要と事業の経営方針

平成18年度の認知症対応型共同生活介護事業につきましては、平成18年4月からの介護報酬の改正により若干の介護報酬の増額がありましたが、夜勤の義務化などの影響により委託料が増額となり、財政状況はさらに厳しくなるものと予想されます。

しかし、認知症の症状のみられる高齢者に家庭的な雰囲気のもと生活していただけるよう、介護技術の提供に努めるとともに、収入の確保に努めます。

事業運営につきましては、業務予定量といたしまして、入居者数を定員の9人、入院等による不在を見込んだ利用率を99.2%とし、年間利用予定人員を延べ3,258人としました。

収益的収入では、グループホーム使用料で8,770千円、介護報酬として27,510千円、その他営業収益1千円、雑収益1千円、計36,282千円を計上し、また、支出といたしましては、委託料、減価償却費をはじめとする営業費用、施設建設時に借り入れた起債の利息等の営業外費用、予備費合わせて38,670千円を予定いたしました。

その結果、収益的収支におきましては、2,388千円の純損失が生ずる見込みであります。

一方、資本的支出におきましては、企業債償還金1,773千円を予定計上いたしました。

この結果、1,773千円の収支不足となりますが、繰越資金239千円及び利益剰余金1,534千円で措置する予定であります。

伊勢市選管告示第 77 号

当市の選挙人名簿に登録されている下記の者について、当市に住所を有しなくなり表示をしてから平成 18 年 6 月 1 日現在で 4 箇月を経過したので、選挙人名簿から抹消しました。

平成 18 年 6 月 2 日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 杉 木 仁

記

男	143 人
女	145 人
計	288 人

「下記の者」は省略し、抹消者一覧表を選挙管理委員会事務局に備え置いて、一般の縦覧に供します。

伊勢市選管告示第 78 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 74 条及び第 75 条に規定する選挙権を有する者の総数の 50 分の 1 の数並びに地方自治法第 76 条、第 80 条、第 81 条及び第 86 条に規定する選挙権を有する者の総数の 3 分の 1 の数は、下記のとおりです。

平成 18 年 6 月 2 日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 杉 木 仁

記

1	選挙権を有する者の総数の 50 分の 1 の数	2,204 人
2	選挙権を有する者の総数の 3 分の 1 の数	36,724 人
	(参考) 永久選挙人名簿登録者総数	110,171 人

伊勢市選管告示第 79 号

市町村の合併の特例に関する法律（昭和 40 年法律第 6 号）第 4 条第 11 項及び第 4 条の 2 第 15 項に規定する選挙権を有する者の総数の 6 分の 1 の数は、下記のとおりです。

平成 18 年 6 月 2 日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 杉 木 仁

記

1 選挙権を有する者の総数の 6 分の 1 の数	18,362 人
（参考）永久選挙人名簿登録者総数	110,171 人

伊勢市上下水道事業告示第 39 号

伊勢市下水道排水設備指定工事店規程(平成 17 年上下水道事業管理規程第 2 号)第 3 条第 1 項の規定により、伊勢市下水道排水設備指定工事店を次のとおり指定しましたので、同規程第 13 条第 1 項の規定により告示します。

平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市長 森 下 隆 生

指定 番号	工事店名	所 在 地	指定年月日
272	夢の住まい 三優ホーム	津市白塚町 31 番地 79	平成 18 年 5 月 23 日

伊勢市上下水道事業告示第 40 号

伊勢市下水道排水設備指定工事店規程(平成 17 年上下水道事業管理規程第 2 号)第 3 条第 1 項の規定により、伊勢市下水道排水設備指定工事店を次のとおり指定しましたので、同規程第 13 条第 1 項の規定により告示します。

平成 18 年 6 月 13 日

伊勢市長 森 下 隆 生

指定 番号	工事店名	所 在 地	指定年月日
273	愛豊建設 株式会社	伊勢市西豊浜町 1861 番地	平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市上下水道事業告示第 41 号

伊勢市下水道排水設備指定工事店規程(平成 17 年上下水道事業管理規程第 2 号)第 3 条第 1 項の規定により、伊勢市下水道排水設備指定工事店を次のとおり指定しましたので、同規程第 13 条第 1 項の規定により告示します。

平成 18 年 6 月 13 日

伊勢市長 森 下 隆 生

指定 番号	工事店名	所 在 地	指定年月日
274	有限会社 中建工業	松阪市上川町 2278 番地 1	平成 18 年 6 月 6 日

伊勢市公告第 23 号

農業経営基盤強化促進法(昭和 55 年法律第 65 号)第 18 条第 1 項の規定により、次のように農用地利用集積計画を定めましたので、同法第 19 条の規定により公告します。

平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市長 森 下 隆 生

農用地利用集積計画(利用権設定)

利用権を設定する人	利用権の設定を受ける人	利用権設定面積	備考
3 人	3 人	11,089 m ²	1 年
2 人	2 人	5,070 m ²	2 年
7 人	5 人	23,380 m ²	3 年
5 人	5 人	8,964 m ²	5 年
4 人	1 人	6,081 m ²	7 年
4 人	3 人	10,467 m ²	10 年

伊勢市公告第 24 号

伊勢市営住宅管理条例(平成 17 年伊勢市条例第 163 号)第 4 条の規定により、空家入居者の募集を次のとおり行います。

平成 18 年 6 月 1 日

伊勢市長 森 下 隆 生

1 受付の期間及び時間

平成 18 年 6 月 19 日(月)から同月 28 日(水)までの午前 8 時 30 分から午後 5 時まで。(土曜日及び日曜日は除きます。)ただし、6 月 19 日(月)及び同月 26 日(月)は午前 8 時 30 分から午後 7 時まで

2 受付場所

伊勢市都市整備部建築住宅課

3 募集戸数

11 団地、29 戸募集いたします。詳細は次のとおりです。

	団地名	構造	部屋数	建設年度	浴槽	給湯	駐車場	空家数	所在地
新規	二俣	中耐 3	2 D K	平成 18 年度	有	有	1 台	12	二俣 3 丁目
			3 D K		有	有	1 台	6	
	計							18	
空家	倭 A	中耐 4	3 D K (1 階)	昭和 56 年度	有	有	1 台	1	倭町
			3 D K (2 階)					1	
	倭 B	中耐 4	3 D K (2 階)	昭和 57 年度	有	有	1 台	1	
	倭 C	中耐 5	3 D K (4 階)	昭和 60 年度	有	有	1 台	1	
	浦口	中耐 3	3 D K (1 階)	平成 5 年度	有	有	1 台	1	

二俣	中耐 4	2 D K (3 階)	平成 16 年度	有	有	1 台	1	二俣 3 丁目	
万所	中耐 3	3 D K (3 階)	平成 12 年度	有	有	1 台	1	辻久留 3 丁目	
大湊	中耐 3	3 D K (3 階)	昭和 48 年度	無	無	自治会 管理	1	大湊町	
朝熊 第 2	簡平	3 K	昭和 52 年度	無	無	1 台	2	朝熊町	
朝熊 第 3	簡平	3 D K	昭和 59 年度	無	無	1 台	1		
計								11	
合計								29	

簡平...簡易耐火平屋建 中耐 3...中層耐火 3 階建 中耐 4...中層耐火 4 階建 中耐 5...中層耐火 5 階建

4 入居申込資格

- (1) 伊勢市内に住所又は勤務場所を有すること。
- (2) 現に住宅に困っていることが明らかであること。
- (3) 現に同居し、又は同居しようとする者で、夫婦（事実上婚姻関係にある者及び婚約中の者で入居契約時に婚姻の届出をして入居できる者を含む。）又は親子を主体として独立の生計を営み、申請人を含む家族数が 2 人以上であること。ただし、身体障害者等は単身入居できる。
- (4) 税を完納していること。
- (5) 公営住宅法施行令(昭和 26 年政令第 240 号)第 6 条第 5 項に規定する基準の収入を超えないこと。

5 入居者の決定

市営住宅入居者選考委員会で入居資格適格者となった者について、公開抽選を行い、入居者を決定します。

なお、公開抽選は、申込者数がそれぞれの空家数を上回った場合に行います。

- (1) 日時 平成 18 年 7 月 23 日（日）
二俣団地新規分 午前 10 時 00 分より

空家募集分 午後 1 時 30 分より

(2) 場所 ハートプラザみその 多目的ホール

6 住宅への入居

入居決定後、10 日以内に所定の手続きを行い、入居していただきます。

なお、10 日以内に所定の手続きをしないときは、入居の決定を取り消します。

7 申込方法

伊勢市都市整備部建築住宅課で伊勢市営住宅入居申込用紙を受け、必要事項を記入の上、世帯全員の住民票の写し、所得証明書及び税の完納証明書等の必要書類を添付し、申込みをしてください。

なお、申込みは、希望する住宅を指定していただきます。

8 その他

詳細については、伊勢市都市整備部建築住宅課住宅係（TEL0596-21-5596・5597）へ問い合わせてください。

伊勢市公告第 25 号

公 示 送 達

下記の者の平成 18 年度国民健康保険料通知書(仮算定)は、住所、居住等が不明のため送達することができないので、国民健康保険法(昭和 33 年法律第 192 号)第 78 条において準用する地方税法(昭和 25 年法律第 226 号)第 20 条の 2 の規定により、福祉健康部医療保険課に保管してありますから、来庁の上、受領してください。

平成 18 年 6 月 13 日

伊勢市長 森 下 隆 生

記

1 公示送達を受けるべき者の氏名及び住所

氏 名	住 所	通知書番号
瀬口 忍	宇治浦田 3 丁目 11 番 1 号	0000643-5
瀬口つち子	宇治浦田 3 丁目 11 番 1 号	0001423-0
出谷 豊	宇治浦田 3 丁目 48 番 18 号	0048169-4
上村 力	古市町 122 番地	0081180-9
夏目 英樹	古市町 233 番地 シャトー TANIGUCHI 3 F A	0014329-4
西村 清美	倭町 1 番地 30 ハイツカズ A 号	0083250-8
北尾 健司	岡本 1 丁目 15 番 16 号	0017173-2
奥村 良次	岡本 2 丁目 2 番 3 号	0085468-4
奥野 誠	岩淵 3 丁目 10 番 26 号	0020023-5
藤岡 倉清	岩淵 3 丁目 4 番 20 号 コスモハイツ 105 号	0066323-5
尾形 明	吹上 2 丁目 9 番 33 号	0069323-1

尾形 直希	吹上 2 丁目 9 番 33 号	0090355-6
岡本 一	吹上 2 丁目 9 番 31 号 丸二マンション 1 - 603 号	0063244-6
石井 利兒	河崎 3 丁目 2 番 36 号 コートライトアップ 206 号	0001174-8
山下 重樹	河崎 3 丁目 5 番 11 号	0047594-3
大東 幸男	船江 1 丁目 4 番 4 号	0062491-3
飯田 英樹	船江 3 丁目 15 番 2 号 小林荘 1 号	0002508-9
森川 徳雄	船江 3 丁目 10 番 9 号	0083757-2
杉山 幸美	船江 4 丁目 2 番 45 号	0062483-0
高尾 薫	宮後 2 丁目 10 番 20 号 フジマンション 303 号	0020735-6
平賀 静子	宮後 2 丁目 10 番 7 号 フォーブル鈴木 101 号	0021907-9
山下 一男	宮後 2 丁目 14 番 52 号	0000687-2
望月 昭好	一之木 3 丁目 5 番 32 号 荻野コーポ 305 号室	0015854-0
射場 福男	一之木 4 丁目 1 番 17 号	0080312-9
小田島敏夫	一之木 4 丁目 11 番 39 号 木の実東海 101 号	0016882-9
月脚 戦治	一之木 4 丁目 6 番 7 号 フォーブル三木 103	0066011-6
林 亨	一之木 4 丁目 11 番 39 号 木の実東海 2 階 201 号室	0015865-6
柳田 豊一	一之木 4 丁目 3 号 1 号	0014398-9
中村 伸也	大世古 2 丁目 7 番 25 号	0048254-3
東川 宗生	大世古 4 丁目 5 番 5 号 コーポコスモス 206 号	0010952-8
貝塚 功洋	曾祢 2 丁目 5 番 8 号	0016304-5
亀井 勇	常磐 1 丁目 8 番 2 号 平和荘 2 階 3 号	0024978-6
森下 保	常磐 1 丁目 2 番 17 号 静荘	0024921-6
下村 忠一	常磐 2 丁目 11 番 4 号	0016402-6
井上 伸之	常磐 3 丁目 11 番 31 号	0068055-1
望月 通裕	常磐 3 丁目 11 番 31 号 京セラ常磐寮 C - 101 号	0002826-4
秋豆 正司	浦口 4 丁目 6 番 21 号	0040003-3
中北 弘子	辻久留 1 丁目 16 番 8 号	0045792-5
亀井美代子	辻久留 2 丁目 11 番 42 号	0012940-0
MAGBITANG RONELDA MERCADO	中島 1 丁目 3 番 10 号	0083832-3
河俣 英一	中島 1 丁目 3 番 10 号	0002264-6
井上 優香	中島 2 丁目 8 番 18 号 花苑荘 2 F - 3	0027028-7

佐々木与一	中島2丁目11番21号北マンション202号	0082629-5
竹下 秀樹	宮川1丁目4番5号 みやがわハイツ101号室	0000787-0
干場 陽子	竹ヶ鼻町235番地1東海船舶206号	0014604-0
鹿海 稔久	小木町416番地1	0091305-1
東 伸紀	馬瀬町1112番地メゾンユートピア2-203号	0002556-7
島田 壽人	下野町20番地1神鋼下野ハイツ203号	0017120-4
山本 太紀	下野町154番地パレスコート202号	0049280-7
寺本 幸男	大湊町328番地幸紀203号	0002583-0
高木そよの	神田久志本町1476番地1 山根ハイツ2-2号室	0016047-0
岩本 永熙	神久1丁目6番3号	0054620-8
中西 重雄	神久2丁目2番27号	0081892-9
西岡 良明	神久4丁目1番51号	0061379-2
大谷 涼	神久5丁目8番46号神久荘	0014785-7
濱田 泰三	神久5丁目8番46号神久荘3号	0089082-8
山本 義久	神久6丁目8番23号 プルミエ・ラムール202号	0062298-3
酒徳 元樹	黒瀬町206番地1	0093065-8
神原 明久	田尻町266番地フォレスト	0015746-8
犬飼 進	勢田町1074番地	0021952-4
宮本 文男	佐八町1695番地4ルミナエル301号	0065156-0
三宅 利雄	有滝町594番地	0002794-3
森下 朋一	村松町3855番地1	0096416-0
森島三津廣	東大淀町568番地4	0068725-0
世古 保之	上地町4372番地3	0000148-4
埴田 実	上地町605番地暁荘は号	0066343-3
西井 典生	中須町848番地4	0097541-4
井手 浩信	川端町202番地	0015341-8
中森 靖夫	楠部町67番地14斗南荘11号	0047290-9
温品 靖	楠部町1734番地	0017035-5
大阪 善保	朝熊町3171番地1	0022530-8
西島 定	円座町1403番地	0061616-9
井出 勝利	横輪町136番地3	0000741-7
下村 廣	二見町茶屋292番地	0100241-7
田中 昭夫	二見町茶屋92番地1	0103050-9

野口 幹雄	二見町溝口703番地 1	0103347-9
宮本 三郎	二見町西1129番地	0100740-9
村田 武宏	小俣町元町229番地 1 ファミリーハウス三野 5号	0208793-8
山下 慎	小俣町元町1319番地友栄荘 1 - D	0211250-5
大 浩史	小俣町元町66番地 1 元町ハイツ102号	0210792-7
松崎 弘	小俣町相合1363番地	0210621-9
岩田 実	小俣町明野541番地 4 2棟109号	0206910-1
オリベイラ アパレシード	小俣町明野549番地 2 エスポアール中西 A 103	0207550-4
増岡 明宣	小俣町明野406番地 1 コーポラスゆたか 1 B	0211867-7
山 貴大	小畑町明野382番地13	0211475-8
片岡 直樹	小俣町宮前673番地 6	0206408-6
小島鹿次郎	小俣町宮前529番地 3	0206751-9
中山 啓	小俣町宮前561番地 2 コーポ宮前	0209222-7
赤坂 忠信	小俣町湯田375番地豊田コーポ302号	0210041-9
天野 英司	小俣町本町1091番地メゾン小俣102	0211066-5
渡邊 正夫	小俣町本町497番地服部アパート 4号	0210777-9
石橋 広史	御園町高向799番地 4	0301878-6
倉野 茂樹	御園町高向692番地おおとり荘 B号	0303644-0
小屋 賢司	御園町高向2407番地 1 メゾンブローニュ10 - 202号	0304064-8
任田 克俊	御園町高向837番地 2	0304224-9
野崎 悟	御園町高向647番地5小橋苑12号室	0302733-2
松井たみ代	御園町高向2434番地	0303102-8
藪木すすむ	御園町高向1035番地 6	0302070-8
山口 順次	御園町高向960番地 2 上川アパート 5号	0302744-9
安部 敏夫	御園町長屋556番地中居 C号	0303769-4
九鬼 康義	御園町長屋1089番地 2 コーポそよかぜ A 201号	0304190-2
小口 昭子	御園町長屋556番地中居荘 C号	0303785-0
永谷 郁男	御園町長屋556番地中居荘 C号	0303940-1
藤田 和光	御園町長屋1081番地 4	0025572-6

林 和成	御園町王中島792番地 2 コーポみその102	0303101-0
高橋 拓巳	御園町小林958番地 3 福島ハイツ 2 - D	0066781-4
西川 精一	名張市鴻之台 2 丁目73番103号	0012369-2
平野 義治	滋賀県愛知郡愛知川町大字沓掛774番地 平和マンション107	0099185-7

伊勢市公告第 26 号

公 示 送 達

下記の者の平成 18 年度介護保険料暫定賦課分納入通知書は、住所、居所等が不明のため送達することができないので、介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 143 条において準用する地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）第 20 条の 2 の規定により、福祉健康部介護保険課に保管してありますから、来庁の上、受領してください。

平成 18 年 6 月 13 日

伊勢市長 森 下 隆 生

記

氏 名	住 所	被保険者番号
猪野 楠衛	伊勢市岡本 1 丁目 18 番 43 号	0300137714
殿村 四郎	伊勢市吹上 2 丁目 8 番 18 号	0300033452
井村 雅昭	伊勢市河崎 1 丁目 1 番 22 号 吉村アパート C	0300072891
川崎 一雄	伊勢市河崎 2 丁目 21 番 31 号	0300038108
西川 精一	伊勢市船江 1 丁目 8 番 12 号	0300024275
森川 徳雄	伊勢市船江 3 丁目 10 番 9 号	0300270246
山本 光男	伊勢市船江 4 丁目 4 番 30 号	0300243565
月脚 戦治	伊勢市一之木 4 丁目 6 番 7 号 フォーブル三木 103	0300266020
江村 南斗	伊勢市一之木 4 丁目 2 番 47 号 森田荘 2 号	0300219490
北村 晋一	伊勢市一之木 4 丁目 7 番 6 号 谷口 須美方	0300296811
川口 實	伊勢市一志町 4 番 2 号 水谷荘	0300302932
藤本ミツ子	伊勢市大世古 3 丁目 1 番 2 号	0300071730
中村 和信	伊勢市曾祢 2 丁目 7 番 20 号	0300270436
濱口 玉美	伊勢市浦口 4 丁目 28 番 11 号 市営住宅浦口団地 17 号	0300302262

北村 稔	伊勢市二俣町 2 丁目 4 番 31 号 市営住宅さくらアパート 24 号	0300276490
邨瀬 正夫	伊勢市二俣 4 丁目 4 番 2 号 横浜ゴム社宅	0300284338
竹内 勇	伊勢市小木町 589 番地 1 ロイヤル中川 101 号	0300291044
鹿海 稔久	伊勢市小木町 416 番地 1	0300204053
鹿海 厚子	伊勢市小木町 416 番地 1	0300310877
大谷 凉	伊勢市神久 5 丁目 8 番 46 号 神久荘	0300269008
久世 修	伊勢市黒瀬町 614 番地 15	0300205524
太田八重子	伊勢市黒瀬町 1724 番地	0300128662
岡谷 茂清	伊勢市川端町 103 番地 2	0300289451
温品 靖	伊勢市楠部町 1734 番地	0300268323
田中 昭夫	伊勢市二見町茶屋 92 番地 1	9000127671
中西 忠	伊勢市小俣町元町 1002 番地	9000108259
赤坂 忠信	伊勢市小俣町湯田 375 番地 豊田コーポ 302 号	9000126517
塩見 道雄	伊勢市御園町高向 1015 番地 3	0300307972
浦田 勝	伊勢市御園町長屋 550 番地 1	9000117706

伊勢市情報公開条例（平成 17 年条例第 19 号）第 20 条の規定に基づき、平成 17 年度（平成 17 年 11 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの間に請求のあったもの）における公文書の公開等についての実施状況を、次のとおり公表します。

平成 18 年 6 月 20 日

伊勢市長 森 下 隆 生

1 公文書公開請求の状況

平成 17 年度（11 月から 3 月）における公文書公開請求件数は、45 件でした。

（単位：件）

	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
請求	5	5	7	12	16	45

2 公文書公開請求者別状況

平成 17 年度（11 月から 3 月）における公文書公開請求者数は、人数で 29 人でした。

3 公文書公開請求の実施機関別状況

平成 17 年度（11 月から 3 月）の公文書公開請求状況を実施機関別に見ると、市長 41 件、教育委員会 4 件でした。

（単位：件）

実施機関名		件数	実施機関名	件数
市長	医療保険課	1	教育委員会	4
	介護保険課	1	議会	0
	農林課	10	公平委員会	0
	水産課	2	農業委員会	0
	まちづくり推進課	1	病院事業管理者	0
	都市整備課	4	消防長	0
	維持管理課	7	選挙管理委員会	0
	都市計画課	3	監査委員	0
	建築住宅課	1	固定資産評価審査委員会	0
	上下水道部管理課	9		
	（小俣総合支所）地域振興課	1		
	（御園総合支所）上下水道課	1		
	計（12課）	41	計	4
合 計				45

4 公文書公開請求の決定状況

(1) 決定状況

公文書公開請求に対するその決定状況は、公開 24 件、部分公開 19 件、非公開 1 件、取下げ 1 件、請求却下 8 件でした。

なお、1件の請求に対して複数の決定のものがあります。

(単位：件)

区 分	請 求					
	公 開	部分公開	非公開	取下げ	請求却下	計
件 数	24	19	1	1	8	53

(2) 部分公開・非公開・請求却下理由別内訳

部分公開、非公開又は請求却下となった理由は次のとおりです。

なお、1件の請求に対して複数の理由のものがあります。

(単位：件)

非 公 開 理 由	部分公開	非公開	請求却下	合計
個人情報(第9条第1号)	5	1	X	6
法人等情報(第9条第2号)	15	0		15
国等との協力関係情報(第9条第3号)	0	0		0
意思形成過程情報(第9条第4号)	0	0		0
事務事業の執行情報(第9条第5号)	0	0		0
公共の安全、秩序維持情報(第9条第6号)	0	0		0
任意提供情報(第9条第7号)	0	0		0
合議制機関情報(第9条第8号)	0	0		0
法令秘情報(第9条第9号)	0	0		0
請求対象とならない公文書	X	X		0
公文書特定不可能			1	1
公文書不存在			8	8
合 計	20	1	9	30

5 不服申立ての状況

公文書の公開請求に対し実施機関が行う諾否の決定に対し、不服申立てができるようになってはいますが、平成17年度(11月から3月)の不服申立てはありませんでした。

6 審査会の処理状況

平成17年度(11月から3月)に伊勢市情報公開審査会への諮問はありませんでした。

伊勢市個人情報保護条例（平成 17 年条例第 20 号）第 30 条の規定に基づき、平成 17 年度（平成 17 年 11 月 1 日から 18 年 3 月 31 日までの間に請求のあったもの）における個人情報の開示等についての実施状況を次のとおり公表します。

平成 18 年 6 月 20 日

伊勢市長 森 下 隆 生

1 個人情報取扱事務の届出

実施機関は、個人情報を取り扱う事務を開始しようとするときは、あらかじめその取扱事務の名称、利用の目的等についての届出を市長に行わなければなりません。

平成 17 年度（11 月から 3 月）における実施機関からの届出件数は 497 件でした。

（単位：件）

実施機関名	件 数
市 長	365
教育委員会	84
選挙管理委員会	5
監査委員	2
農業委員会	4
病院事業管理者	9
消防長	26
議 会	2
合 計	497

2 個人情報取扱事務の廃止、変更の届出

実施機関は、個人情報取扱事務の届出に係る取扱事務を廃止又は変更する場合は、その旨を届出なければなりません。平成 17 年度（11 月から 3 月）における事務の廃止及び変更の届出はありませんでした。

3 実施機関別の登録

平成 17 年度末における個人情報取扱事務の登録件数は、497 件となり、実施機関別の登録件数は、次のとおりです。

実施機関別の事務の登録状況（平成 18 年 3 月 31 日現在）

実施機関名	件 数
市 長	365
教育委員会	84
選挙管理委員会	5

監査委員	2
農業委員会	4
病院事業管理者	9
消防長	26
議 会	2
合 計	497

4 個人情報開示、訂正、削除及び中止の請求等

平成17年度(11月から3月)における個人情報開示請求件数は7件でした。
訂正、削除及び中止の請求はありませんでした。

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開示	0	3	1	1	2	7

なお、開示請求の実施機関別状況は以下のとおりでした。

(単位：件)

実施機関名		件数	実施機関名	件数
市 長	人権政策課	1	教育委員会	1
	医療保険課	1	議会	0
	福祉総務課	1	公平委員会	0
	建築住宅課	2	農業委員会	0
	上下水道部管理課	1	病院事業管理者	0
			消防長	0
			選挙管理委員会	0
			監査委員	0
			固定資産評価審査委員会	0
	計(5課)	6	計	1
合 計				7

5 個人情報開示請求者別状況

平成17年度(11月から3月)における個人情報開示請求者数は、人数で6人でした。その状況は、次のとおりです。

請求者別状況 (単位：人)

本人	6	
代理人	未成年者	0
	成年被後見人	0
	特別の理由	0

6 開示請求の決定状況

平成17年度(11月から3月)における個人情報開示請求に対するその決定状況は、開示6件、一部開示1件でした。

(単位：件)

区分	請求	開示	一部開示	非開示
件数	7	6	1	0

7 目的外利用及び外部提供

実施機関は、目的外利用等の根拠がある場合は、個人情報取扱事務の目的の範囲を超えて個人情報を実施機関の内部で利用をし、又は実施機関以外のものへ提供することができますが、平成17年度(11月から3月)における目的外利用の届出は22件、外部提供の届出は2件でした。その状況は次のとおりです。

(1) 実施機関別の目的外利用等の届出 (単位：件)

	目的外利用	外部提供	計
市長	19	2	21
教育委員会	3	0	3
合計	22	2	24

(2) 目的外利用等の根拠 (単位：件)

本人の同意を得ているとき	0
法令等に定めがあるとき	5
公表された事実であるとき	0
緊急かつやむを得ないと認めるとき	0
相当の理由があり、かつ、本人の権利利益を侵害するおそれがないと認めたとき	16
国等への提供で、事務の性質上やむを得ないと認めたとき	5
審議会の意見を聴いて特に必要があると認めたとき	2

1件の目的外利用等に対して複数の根拠のものがあります。

8 不服申立ての状況

個人情報の開示、訂正、削除又は目的外利用等の中止の請求に対する決定に対して、不服申立てができるようになってはいますが、平成17年度(11月から3月)の不服申立てはありませんでした。

9 審議会の処理状況

平成17年度(11月から3月)に伊勢市個人情報保護審議会への諮問はありませんでした。